

平成 30 年度
千曲市男女共同参画社会に向けての意識調査

報 告 書

平成 31 年 2 月
千曲市 人権・男女共同参画課

目 次

1. 調査実施概要

(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査方法及び調査期間	1
(4) 回収状況	1
(5) 調査の推進体制	1
(6) 留意点	2

2. 集計結果

1 市民意識調査	3
2 企業意識調査	19
3 単純集計・市民（前回調査との比較）	29
4 自由記述	36
5 単純集計・企業（前回調査との比較）	47
6 分析と考察	52
7 市民意識調査クロス集計表	53

□参考資料

1 男女共同参画社会に向けての市民意識調査	63
2 男女共同参画社会に向けての企業意識調査	73

1. 調査実施概要

(1) 調査の目的

千曲市では、平成 26 年に「男女共同参画社会に向けての市民意識調査」及び「男女共同参画社会に向けての企業意識調査」を実施する中で、「第 3 次男女共同参画計画」（平成 27 年度から平成 31 年度）を策定し、「男女共同参画社会」に向けての施策の推進に努めてきたところである。

前回行った意識調査の実施からはすでに 5 年を経過することから、また「第 4 次男女共同参画計画」の策定にあたって、市民及び事業者の「男女共同参画社会」についての意識実態の把握も必要である。

このため、本市として今後の男女共同参画社会推進に向けての行政を進めていく上での基礎資料を得ることを目的に、市民及び市内企業を対象とした「男女共同参画社会に向けての意識調査（市民・企業）」を実施することとした。

(2) 調査対象

調査対象は、市民については、20 歳以上 80 歳以下の市民（外国人登録者は対象外）とし、住民基本台帳から無作為により 1,000 人を抽出した。市内企業については、従業員 10 名以上で、地区・業種・事業規模等を考慮した 100 社を抽出した。

(3) 調査方法及び調査期間

調査は、アンケート調査票の郵便による送付・返送として、回答者の無記名方式で行い、調査票を平成 30 年 9 月 3 日（月）に発送し、10 月 5 日（金）までの投函を依頼した。

(4) 回収状況

回収状況は、別表 1 に示すとおりで、全体の回収数について、市民は 391 件で、回収率は 39.1%、企業は 62 社、回収率 62.0%であった

◆市民調査回収状況

区分	市民対象者		回収状況	
	数	比率	回収数	回収率
男性	503	50.3%	177	35.2%
女性	497	49.7%	208	41.9%
不明			6	0.6%
合計	1,000	100.0%	391	39.1%

【参考 平成 26 年度 回収状況】

区分	対象		回収状況	
	数	比率	数	比率
男性	480	48.0%	160	33.3%
女性	520	52.0%	194	37.3%
合計	1,000	100.0%	354	35.4%
企業	100	100.0%	49	49.0%

(5) 調査の推進体制

本調査は、千曲市が、千曲市男女共同参画計画審議会に意識調査の企画内容及び調査項目等について審議を依頼し実施した。基本的には、前回（平成 26 年）調査と同種の調査内容としながら、各委員からの意見や新たな課題を加味したうえで、加筆修正を行った内容として調査を実施した。

別表 2

千曲市男女共同参画計画審議会構成メンバー

役 職	氏 名	所 属
会 長	島田 彰男	学識経験者
副会長	笠井 雪子	千曲市男女共同参画推進連絡協議会
委 員	北川原 ちか子	千曲市男女共同参画推進連絡協議会
〃	小川 貴幸	千曲商工会議所
〃	畑野 武子	戸倉上山田商工会
〃	岡村 和枝	子育てサークル代表
〃	池田 靖子	農業代表
〃	宇都宮 新二	千曲市民生児童委員協議会
〃	塚田 保隆	千曲市区長会連合会
〃	酒井 マサシ	公募
〃	渡辺 和巳	公募
〃	山岸 美智子	公募

[審議会開催日] ○第1回審議会 平成30年7月17日(火)

○第2回審議会 平成31年1月16日(水)

(6) 留意点

本報告書の利用にあたっては、次の諸点に留意が必要である。

- ① 構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位まで表示している。
 このため、合計において、100.0(%)にならない場合もあり得るので、注意が必要である。
 また、「複数回答可」の場合の構成比(%)は、原則として当該対象標本総数(有効回答数)を母体として算出している。その他、特に留意が必要な点については、「(注)」を付して説明を行っている。

2. 集計結果

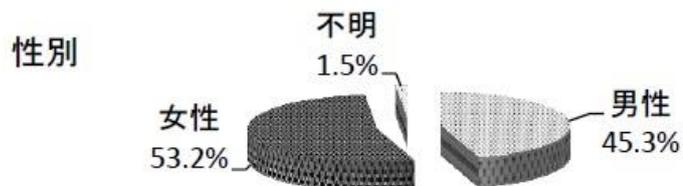
◆市民意識調査

(はじめに) あなたご自身のことについて、次の(1)～(4)のすべてについてお答えください。

(○はそれぞれ1つ)

(1) あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

項目	人数	%
男性	177	45.3
女性	208	53.2
不明	6	1.5
全体	391	100.0



(2) あなたの年齢階層をお答えください。(○は1つ)

項目	人数	%
20歳代	26	6.6
30歳代	43	11.0
40歳代	68	17.4
50歳代	56	14.3
60歳代	94	24.0
70歳代	98	25.1
無回答	6	1.5
全体	391	100.0



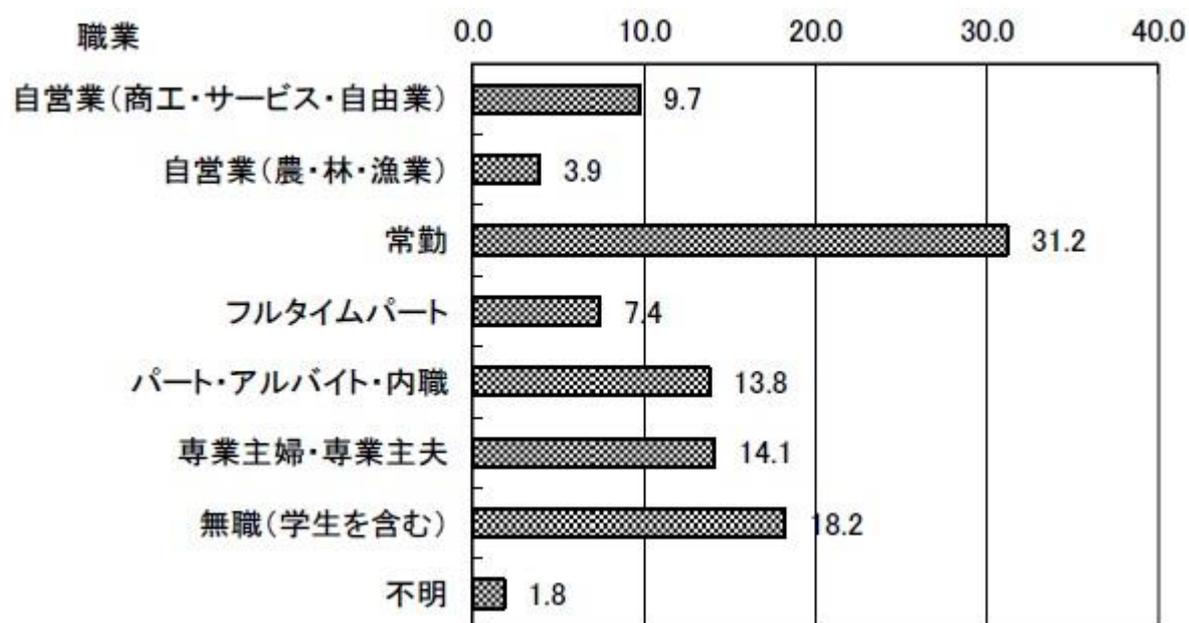
(3) あなたの家族構成をお答えください。(○は1つ)

項目	件数	%
単身世帯	47	12.0
夫婦のみ	96	24.6
二世帯世帯	156	39.9
三世帯世帯	51	13.0
その他	35	9.0
無回答	6	1.5
全体	391	100.0



(4) あなたの職業についてお答えください。(〇は1つ)

項目	件数	%
自営業（商工・サービス業・自由業）	38	9.7
自営業（農・林・漁業）	15	3.9
常勤	122	31.2
フルタイムパート（労働時間・労働日数が正社員とほぼ同じ）	29	7.4
パート・アルバイト、内職（労働時間・労働日数が正社員よりも少ない）	54	13.8
専業主婦、専業主夫	55	14.1
無職（学生を含む）	71	18.2
無回答	7	1.8
全 体	391	100.0



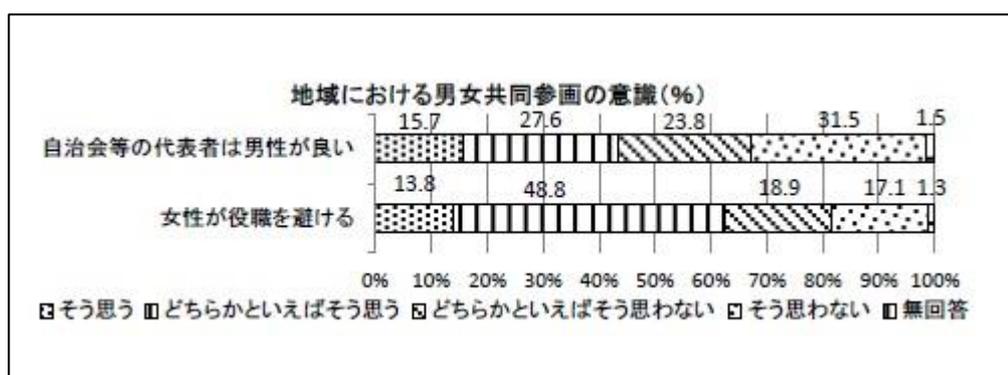
問1 現在、世の中は男女平等だと思いますか。

次にあげる①～⑥すべてについてお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性優遇	平等である	どちらかといえば女性優遇	女性が非常に優遇	わからない	不明
①家庭	28人	156	147	31	8	14	7
	7.2%	39.9	37.6	7.9	2.0	3.6	1.8
②職場	50人	185	84	19	7	27	19
	12.8%	47.3	21.5	4.9	1.8	6.9	4.9
③学校教育	7人	51	245	7	1	68	12
	1.7%	13.0	62.7	1.8	0.3	17.4	3.1
④地域	42人	191	89	13	3	37	16
	10.7%	48.8	22.8	3.3	0.8	9.5	4.1
⑤政治や制度	95人	201	47	13	2	24	9
	24.2%	51.4	12.0	3.3	0.5	6.1	2.3
⑥社会通念・慣習・しきたり	100人	216	36	6	3	21	9
	25.6%	55.2	9.2	1.5	0.8	5.4	1.4

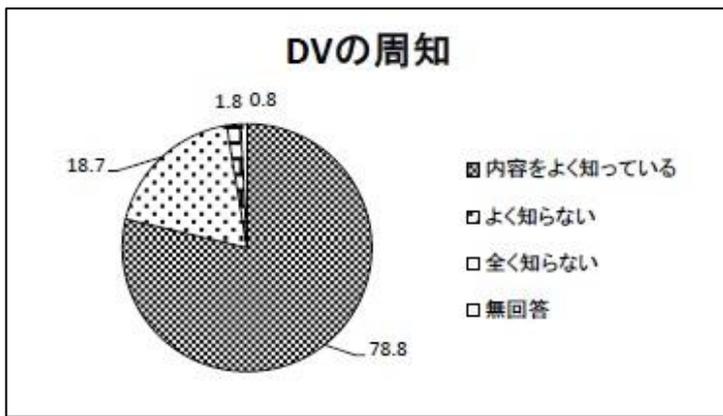
問2 次の事例についてあなたはどのように思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	不明
①地域や家庭での行事や酒席では、女性は裏方(台所)を引き受けるのが当たり前	33人 8.4%	163 41.7	95 24.3	93 23.8	7 1.8
②自治会や公民館・PTAなど団体の代表者は男性になったほうが良い	61人 15.7%	108 27.6	93 23.8	123 31.5	6 1.5
③女性自身が、責任ある役職につくことを避けようとしている	54人 13.8%	191 48.8	74 18.9	67 17.1	5 1.3
④しきたりや、慣習は、自分が嫌だ、時代に合わないと思っても守るべきだ	25人 6.4%	122 31.2	126 32.2	108 27.6	10 2.6
⑤女性は文科系、男性は理数系の学問や職業に向いている	13人 3.3%	56 14.3	92 23.5	222 56.8	8 2.0
⑥子どもは、女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうが良い	54人 13.8%	119 30.4	92 23.5	120 30.7	6 1.5
⑦子どものしつけや教育は、母親の責任である	11人 2.8%	37 9.5	87 22.3	249 63.7	7 1.7
⑧女性は、家庭のことをきちんとしてから仕事に出るべきだ	16人 4.1%	90 23.0	109 27.9	167 42.7	9 2.3



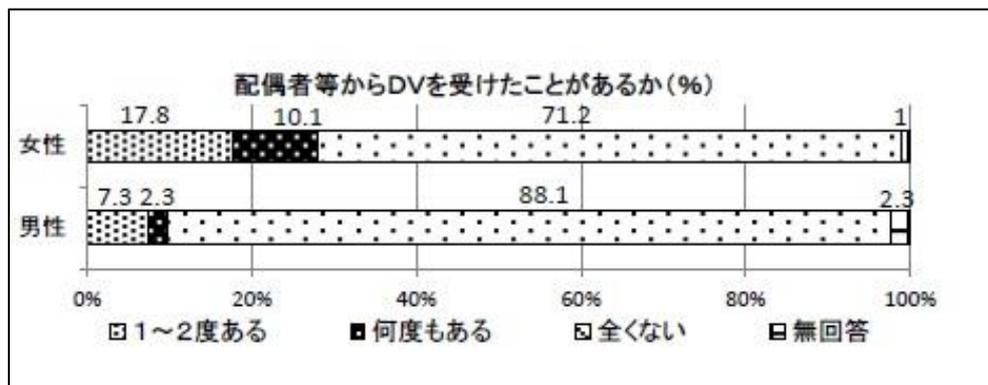
問3 あなたは、DV（ドメスティック・バイオレンス）という言葉をご存知ですか。（○は1つ）

項目	件数	%
どういう意味か内容をよく知っている	308	78.8
聞いたことはあるが、内容はよく知らない	73	18.7
聞いたこともないし、内容も全く知らない	7	1.8
不明	3	0.8
全体	391	100.0



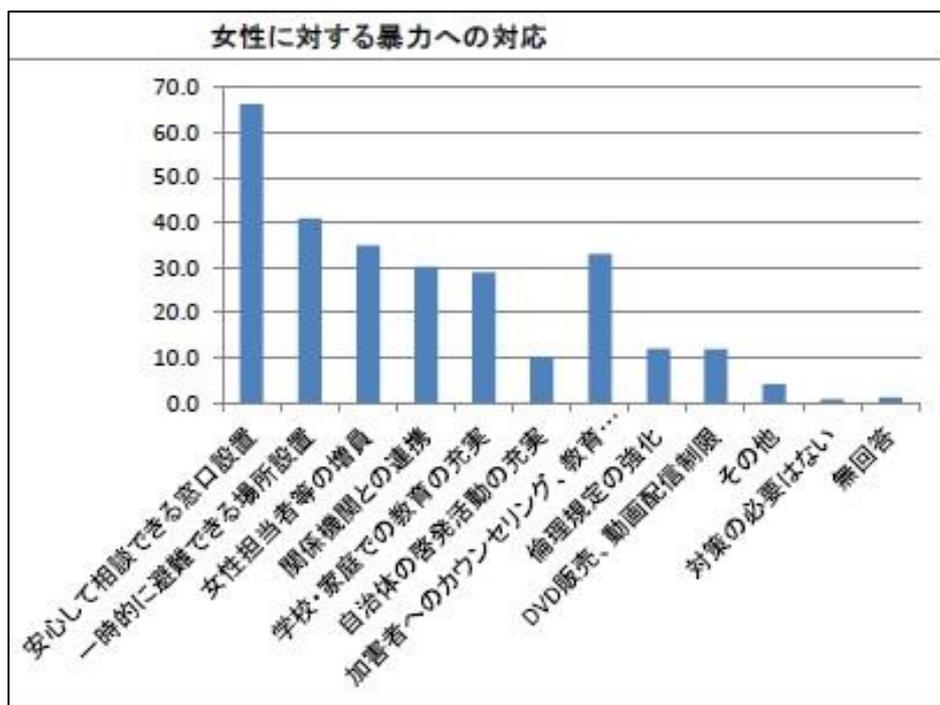
問4 あなたは、配偶者等（事実婚、別居中の夫婦、元配偶者、恋人、元恋人）から、DV（身体的暴力・精神的暴言・経済的強制・性的強要、デートDV）など1つでも受けたことはありますか。（○は1つ）

項目	件数	%
1～2度ある	52	13.3
何度もある	26	6.6
全くない	306	78.3
不明	7	1.8
全体	391	100.0



問5 性犯罪、夫婦間暴力、セクシャルハラスメントなど女性に対する暴力の対応として、どのようなことが効果的だと思いますか。(〇は3つまで)

項目	件数	%
被害者が安心して相談できる窓口の設置	259	66.2
続けて暴力をうけることのないように、被害者が一時的に非難できる場所の整備	160	40.9
被害者の相談にあたる担当者の充実や女性担当者の増員	136	34.8
被害者の支援をする市民団体と関係機関などの連携強化	118	30.2
学校や家庭における男女平等や性についての教育の充実	113	28.9
女性の人権尊重等についての県や市町村での啓発活動の充実	40	10.2
暴力の再発を防ぐための加害者に対するカウンセリングや教育等の実施	129	33.0
性の商品化や暴力表現等過激な内容についてのメディアにおける倫理規定の強化	47	12.0
過激な内容のDVD販売や、動画配信等の制限	46	11.8
その他	16	4.1
特に対策の必要はない	3	0.8
不明	5	1.3



問6 「男は仕事、女は家庭」という性別によって役割を固定する考え方について、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

項目	件数	%
賛成である	15	3.8
仕方がないと思う	59	15.1
あまり好ましくない	225	57.5
反対である	84	21.5
不明	8	2.1
全体	391	100.0

問6-1 問6で1または2と答えた方にお聞きします。そう思う理由はなんですか。

(〇は2つまで) 対象74人

項目	件数	%
男性は外の仕事、女は家事・育児・介護に向いているから	41	55.4
家族を養うのは男の責任で、子育てや夫・両親の世話は女の責任だから	12	18.9
妻が働きに出ると家庭に潤いがなくなる	24	33.8
自分の両親がそのようにしてきたから	10	13.5
その他	11	14.9
特に理由はない	5	6.8

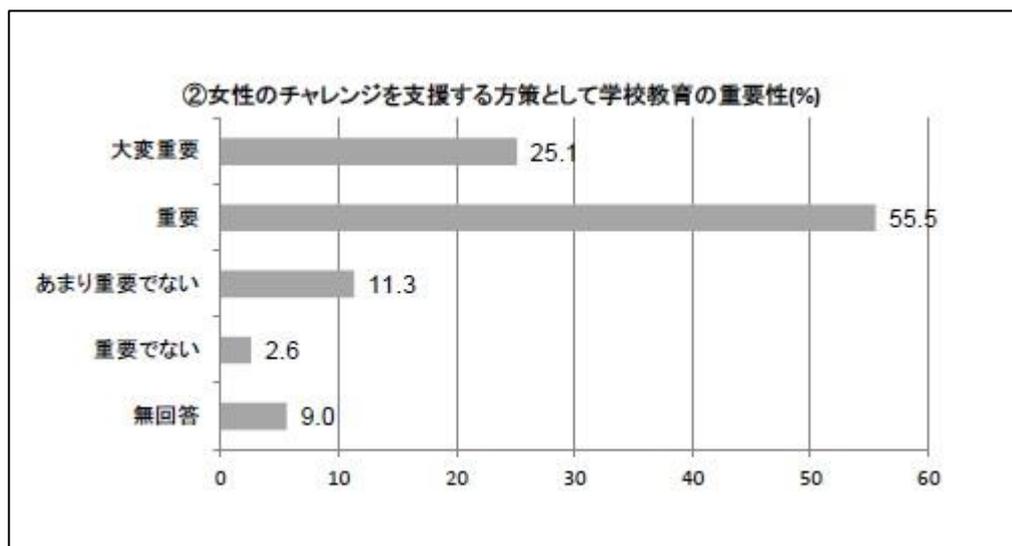
問6-2 問6で3または4と答えた方にお聞きします。そう思う理由はなんですか。

(〇は2つまで) 対象309人

項目	件数	%
男女とも仕事を持つほうが良いから	84	27.2
家事・育児・介護は男女が協力してやるべきだから	239	77.3
仕事と家庭は男女のどちらかが分担しても良いから	177	57.3
妻が家庭にいると視野が狭くなるから	17	5.5
その他	15	4.9
特に理由はない	5	1.6

問7 女性のチャレンジを支援する取り組みとして、次のような施策はどの程度重要だと思いますか。(〇はそれぞれ1つ)

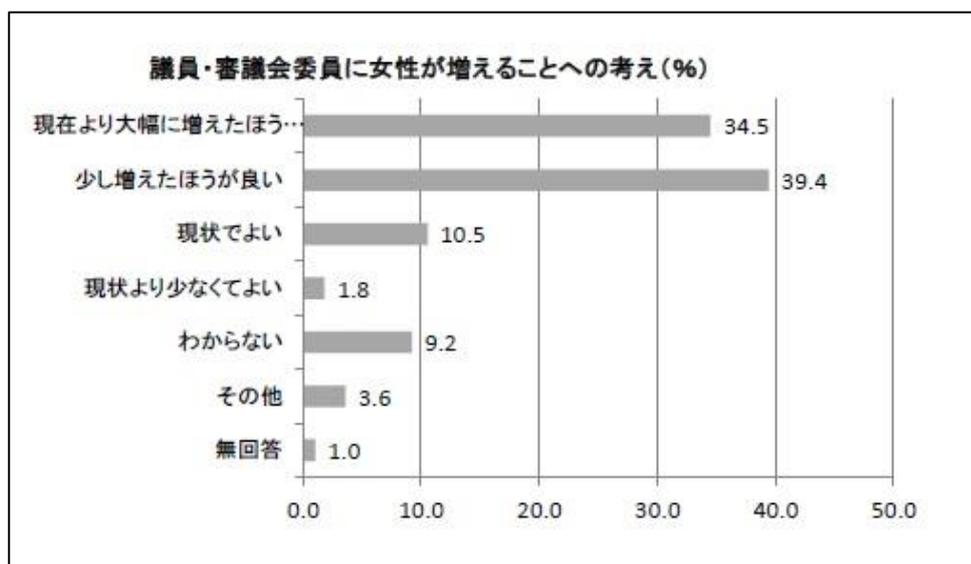
	大変重要である	重要である	あまり重要でない	重要でない	不明
①家庭や地域での広報や啓発	53人	226	77	10	25
	13.6%	57.8	19.7	2.6	6.4
②学校教育での学習の充実	98人	217	44	10	22
	25.1%	55.5	11.3	2.6	5.6
③各種審議会へ女性を積極的に登用	71人	235	56	7	22
	18.2%	60.1	14.3	1.8	5.6
④経営者や事業主に対する啓発強化	85人	222	54	5	25
	21.7%	56.8	13.8	1.3	6.4
⑤仕事と育児・介護両立のための支援策の充実	194人	168	10	2	17
	49.6%	43.0	2.6	0.5	4.3
⑥女性のための相談窓口周知	73人	230	58	7	23
	18.7%	58.8	14.8	1.8	5.9
⑦発達段階に応じた性教育の充実、女性の健康支援	73人	231	57	6	24
	18.7%	59.1	14.6	1.5	6.1
⑧チャレンジする女性に対する支援強化	136人	202	26	6	21
	34.8%	51.7	6.6	1.5	5.4



問8 最近、県・市町村議会の議員や※審議会委員等の政策決定の場に女性が少しずつ増えていますが、あなたはこのことについて、どのように思われますか。(〇は1つ)

(※審議会委員等・国、県、市より委嘱された審議委員、協議会委員等で行政に広く意見を述べたり共に活動をする人)

項目	件数	%
現在より大幅に増えたほうがよい	135	34.5
現在より少し増えたほうがよい	154	39.4
現状でよい	41	10.5
現状より少なくてよい	7	1.8
わからない	36	9.2
その他	14	3.6
不明	4	1.0
全体	391	100.0

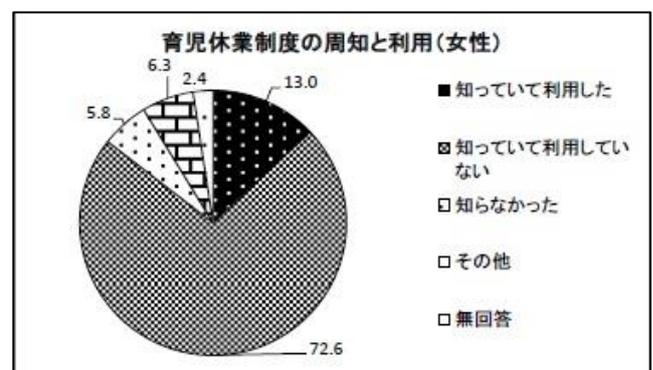
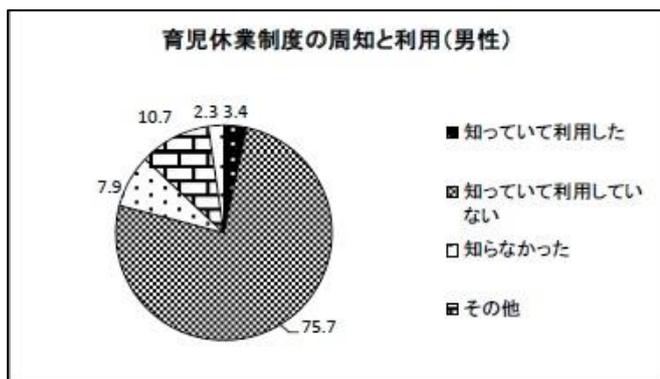


問9 あなたは、政策決定の場に女性が増えることで何を期待しますか。(〇は1つ)

項目	件数	%
政治が身近になる	13	3.3
男性中心の考え方に変化が生じる	127	32.5
男女平等や男女共同参画社会に向けた施策が推進される	118	30.2
行政に対しての要望がきめ細くなる	72	18.4
何も期待しない	28	7.2
わからない	22	5.6
その他	7	1.8
不明	4	1.0
全体	391	100.0

問10 あなたは、育児休業制度をご存知ですか。または利用したことがありますか。(〇は1つ)

項目	件数	%
知っており利用したことがある	34	8.7
知っているが利用したことがない	289	73.9
知らなかった	26	6.6
その他	32	8.2
不明	10	2.6
全 体	391	100.0



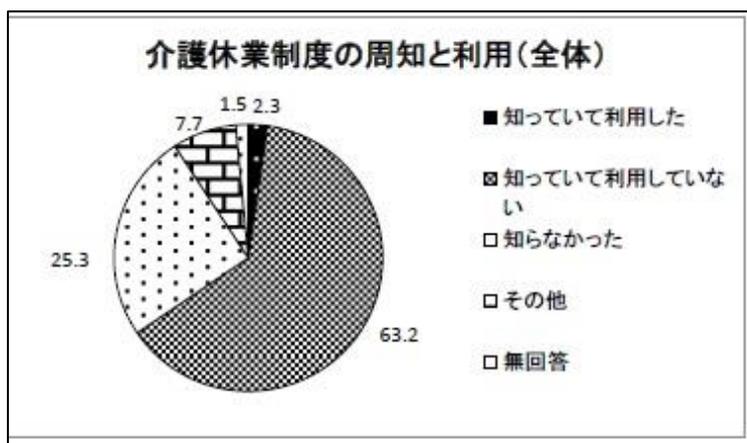
問10-1 問10で2と答えた方にお聞きします。その理由はなんですか。

(〇は2つまで)

項目	件数	%
制度を利用する必要がない	164	41.9
収入の保証がない	32	8.2
昇進・昇給などに差し支える	9	2.3
制度を利用しにくい雰囲気	64	16.4
興味・関心がない	3	0.8
その他	53	13.6
不明	1	0.3

問 11 あなたは、**介護休業制度**をご存知ですか。または利用したことがありますか。(〇は1つ)

項 目	件数	%
知っており利用したことがある	9	2.3
知っているが利用したことがない	247	63.2
知らなかった	99	25.3
その他	30	7.7
不明	6	1.5
全 体	391	100.0



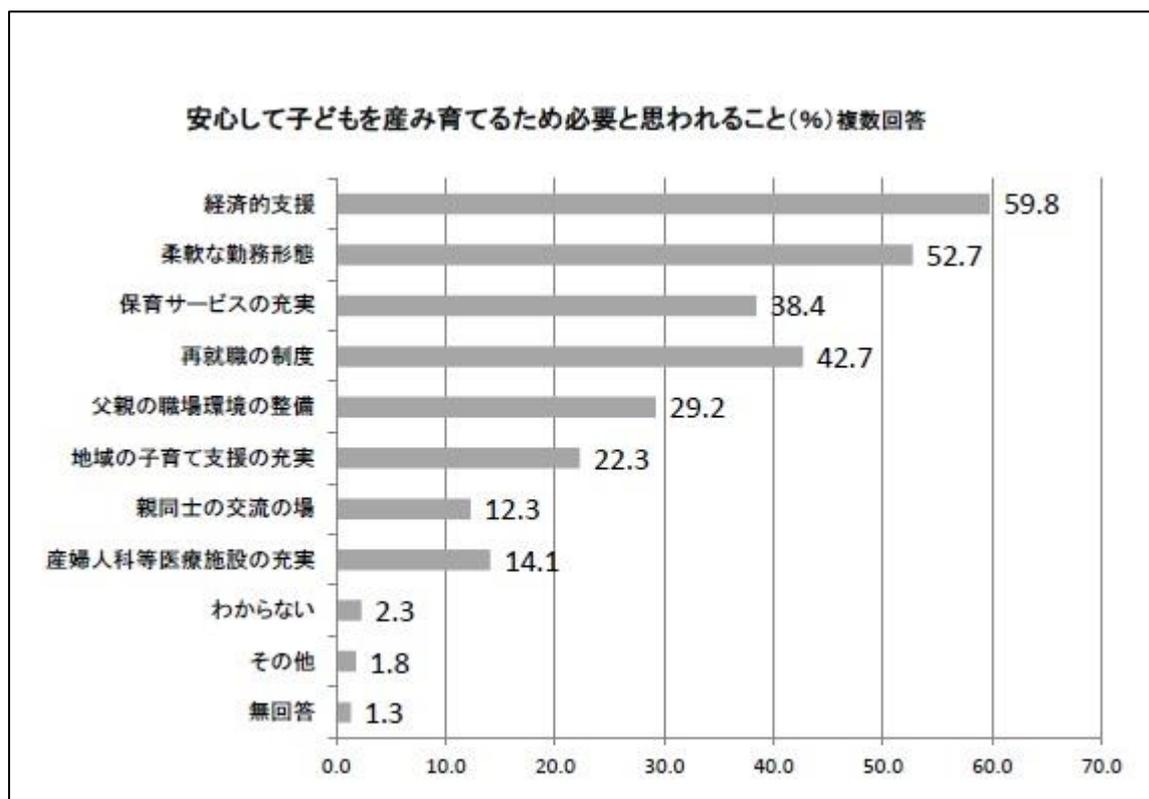
問 11-1 問 11 で 2 と答えた方にお聞きします。その理由はなんですか。

(〇は2つまで)

項 目	件数	%
制度を利用する必要がない	172	44.0
収入の保証がない	32	8.2
昇進・昇給などに差し支える	4	1.0
制度を利用しにくい雰囲気	47	12.0
興味・関心がない	3	0.8
その他	25	6.4
不明	0	0

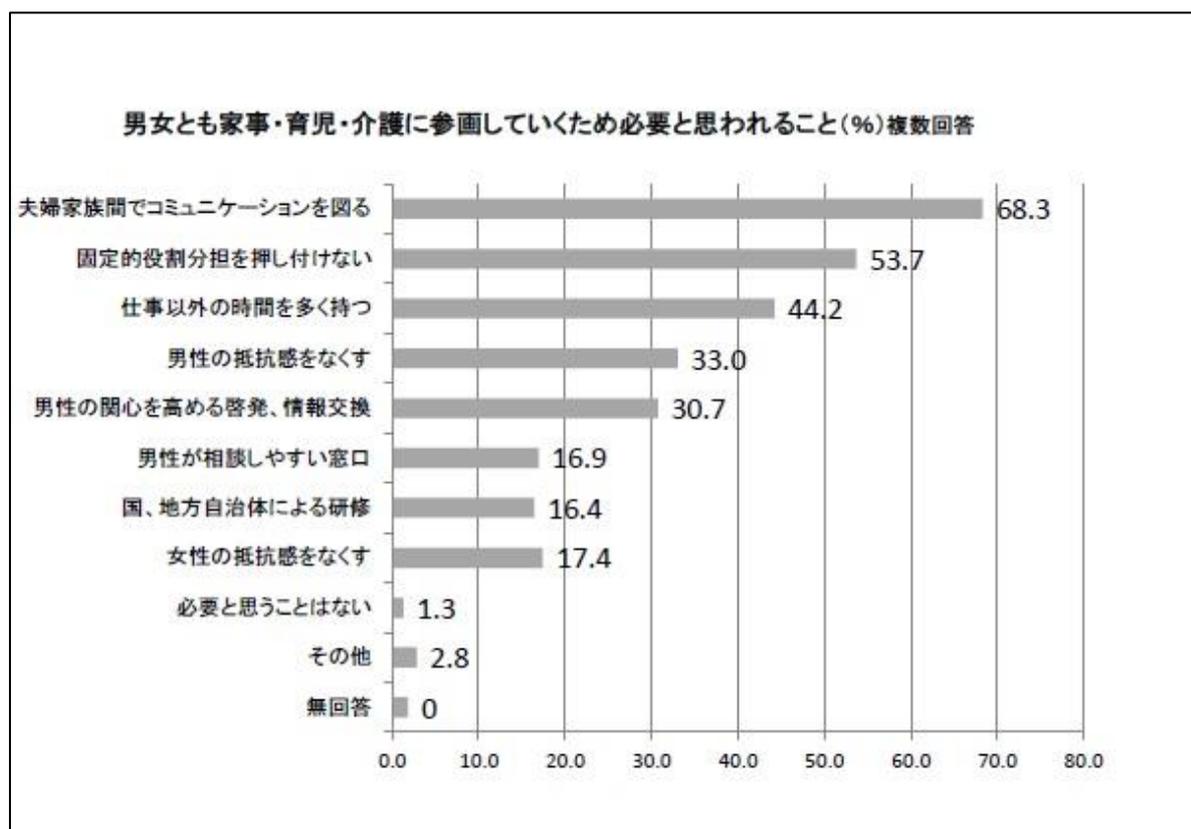
問12 安心して子どもを産み育てるためにはどんなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

項目	件数	%
出産・育児に関する経済的な支援の拡充	234	59.8
子育て中の柔軟な勤務形態の普及	206	52.7
保育サービスの充実	150	38.4
出産・子育て後に再就職しやすい制度	167	42.7
父親が子育てに十分関わるができる職場環境の整備	114	29.2
ファミリーサポート事業や放課後児童クラブなど地域の子育て支援の充実	84	22.3
子育て中の親が相談・交流・情報交換できる場の提供	48	12.3
産婦人科等医療施設の充実	55	14.1
わからない	9	2.3
その他	7	1.8
不明	5	1.3



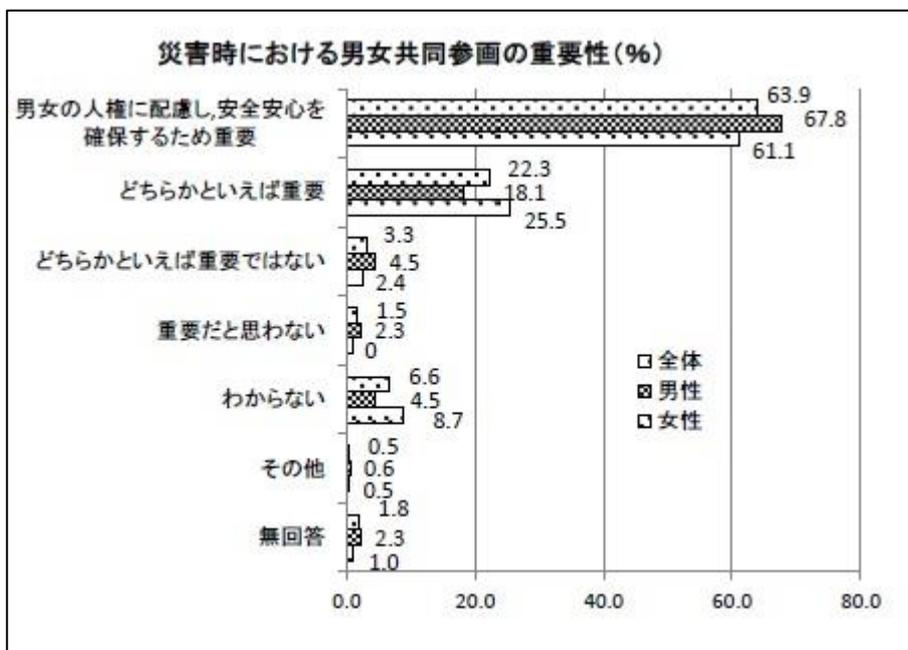
問13 男性と女性がともに家事・育児・介護・地域活動などに積極的に参画していくためにどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

項目	件数	%
夫婦や家族間でコミュニケーションを図る	267	68.3
固定的役割分担を押し付けない	210	53.7
仕事以外の時間を多く持てるようにする	173	44.2
男性の抵抗感をなくす	129	33.0
男性の関心を高めるような啓発や情報提供を行う	120	30.7
男性が地域活動と仕事との両立などの問題について相談しやすい窓口を設ける	66	16.9
国や地方自治体などの研修により男性の家事等の技能を高める	64	16.4
女性の抵抗感をなくす	68	17.4
特に必要と思うことはない	5	1.3
その他	11	2.8
不明	7	1.8



問14 日頃の防災や、災害の本部・避難所の運営、復旧・復興等に男女の共同参画、意思決定の場への女性の参画について、あなたはどのように考えますか。(〇は1つ)

項目	件数	%
男女の人権に配慮した市民の安全、安心を確保するためには重要だと思う	250	63.9
どちらかといえば重要だと思う	87	22.3
どちらかといえば重要だと思わない	13	3.3
重要だと思わない	6	1.5
わからない	26	6.6
その他	2	0.5
不明	7	1.8
全体	391	100.0



問 15 男女共同参画を実現していくために、次のような施策は、どの程度重要だと思いますか。
 (〇はそれぞれ1つ)

	大変重要 である	重要で ある	あまり重 要でない	重要で ない	不明
①男女平等とお互いの性について理解する学校教育の充実	99 人	239	31	1	21
	25.3%	61.1	7.9	0.3	5.4
②男女平等の考え方を社会全体に浸透させるための情報提供や学習の充実	90 人	254	26	1	20
	23.0%	65.0	6.6	0.3	5.1
③職場における管理職への研修等の充実	84 人	231	45	6	25
	21.5%	59.1	11.5	1.5	6.4
④地域における子育て支援体制の充実	132 人	219	15	2	23
	33.8%	56.0	3.8	0.5	5.9
⑤労働時間の短縮等、男女が家事を分担できる条件整備	135 人	199	26	7	24
	34.5%	50.9	6.6	1.8	6.1
⑥再雇用制度の確立や、女性の再就職のための研修等の充実	123 人	514	26	5	23
	31.4%	54.7	6.6	1.3	5.9
⑦「女性委員の割合は何%以上」といった、女性の参画を計画的に促進するための目標設定	45 人	168	130	22	26
	11.5%	43.0	33.2	5.6	6.6

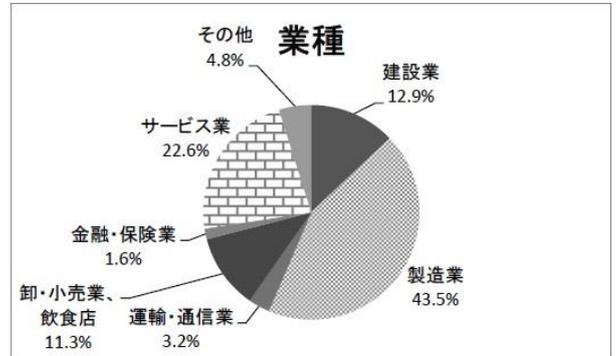
問 16 あなたは、次の法律や条例・計画や取り組みをご存知ですか。
 次の①～⑬のすべてについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

	知っている	聞いたことはあるが内容はわからない	知らない	不明
① 男女雇用機会均等法 (昭和 61 年)	250 人	100	30	11
	63.9%	25.6	7.7	2.8
② 育児・介護休業法 (平成 4 年)	230 人	123	27	11
	58.8%	31.5	6.9	2.8
③ パートタイム労働法 (平成 5 年)	135 人	163	81	12
	34.5%	41.7	20.7	3.1
④ 男女共同参画社会基本法 (平成 11 年)	98 人	166	116	11
	25.1%	42.5	29.7	2.8
⑤ 次世代育成支援対策推進法 (平成 15 年)	34 人	108	235	14
	8.7%	27.6	60.1	3.6
⑥ くるみん・プラチナくるみん認定 (平成 15 年)	13 人	35	332	11
	3.3%	9.0	84.9	2.8
⑦ 社員の子育て応援宣言 (平成 19 年)	18 人	65	288	20
	4.6%	16.6	73.7	5.1
⑧ 千曲市男女共同参画推進条例 (平成 24 年)	32 人	11	237	11
	8.2%	28.4	60.6	2.8
⑨ 第 3 次千曲市男女共同参画計画 (平成 27 年)	32 人	85	263	11
	8.2%	21.7	67.3	2.8
⑩ 女性活躍推進法 (平成 27 年)	23 人	89	268	11
	5.9%	22.8	68.5	2.8
⑪ 職場いきいきアドバンスカンパニー認証 (平成 27 年)	2 人	30	347	12
	0.5%	7.7	88.7	3.1
⑫ イクボス・温 (あった) かボス宣言 (平成 28 年)	19 人	35	325	12
	4.9%	9.0	83.1	3.1
⑬ えるぼし認定 (平成 28 年)	2 人	21	355	13
	0.5%	5.4	90.8	3.3

◆企業意識調査

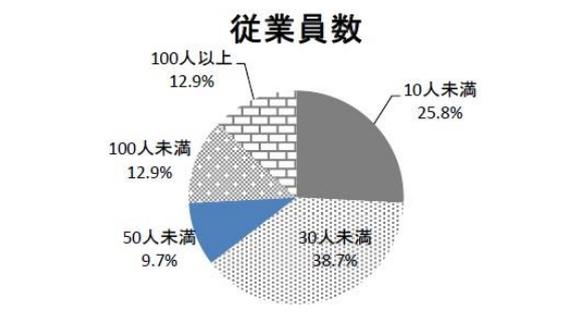
問1 業種は何ですか。(〇は1つ)

項目	件数	%
建設業	8	12.9
製造業	27	43.5
運輸・通信業	2	3.2
卸・小売業、飲食店	7	11.3
金融・保険業	1	1.6
サービス業	14	22.6
その他	3	4.8
全体	62	100.0



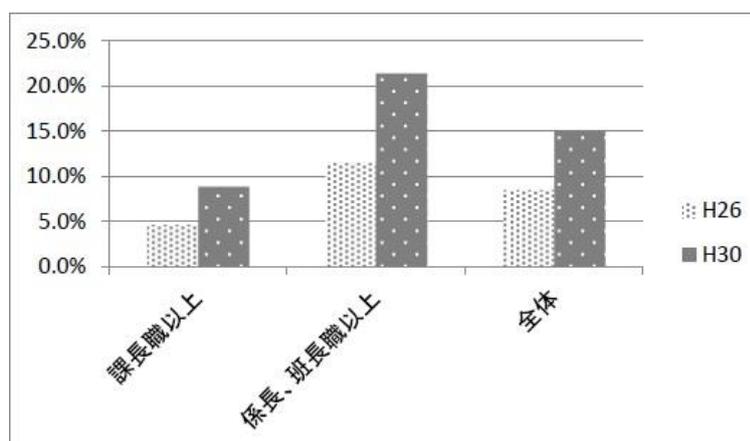
問2 従業員は何名ですか。

項目	件数	%
10人未満	16	25.8
30人未満	24	38.7
50人未満	6	9.7
100人未満	8	12.9
100人以上	8	12.9
全体	62	100.0



問3 管理職や監督職は何名ですか。(回答総数)

管理職 (課長相当職以上)	474名	うち女性	42名 (8.9%)
監督職 (係長、班長等相当職)	454名	うち女性	97名 (21.4%)
合計	928名	うち女性	139名 (15.0%)

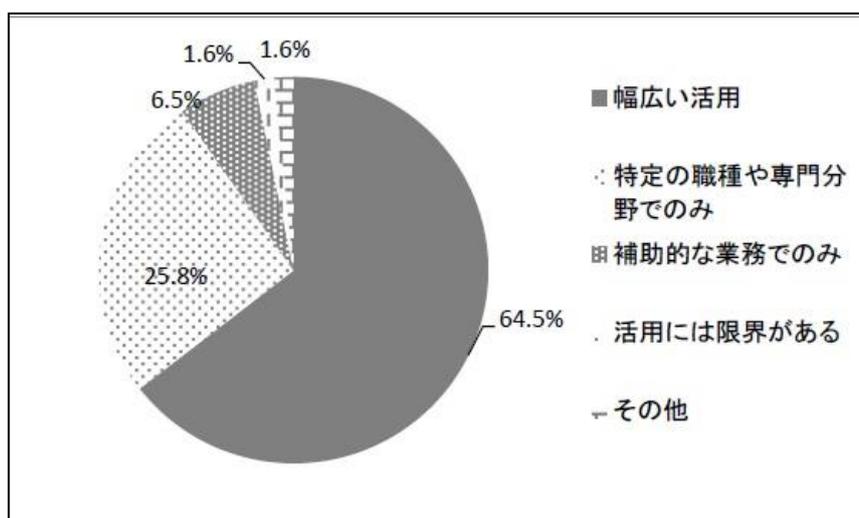


問4 今後女性を役職（管理職・監督職）へ登用することについてどのようにお考えですか。
（○は1つ）

項目	件数	%
本人の能力や意思によって男女の区別なく役職へ登用したい。	47	75.8
女性に適した職種や業務については役職へ登用したい。	11	17.7
今後とも女性を役職へ登用するつもりはない。	3	4.8
不明	1	1.6
全体	62	100.0

問5 女性の活用についてどのようにお考えですか。（○は1つ）

項目	件数	%
男女の区別なく幅広い活用を図っている。	40	64.5
女性は特定の職種や専門分野でのみ活用を図っている。	16	25.8
女性は補助的な業務でのみ活用を図っている。	4	6.5
女性の雇用管理上むずかしい面があるので、活用には限界がある。	1	1.6
その他	1	1.6
全体	62	100.0



問6 次の法律や条例・計画や取り組みをご存知ですか。

次の①～⑬のすべてについてお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

	知っていて 実行してい る	知っている	聞いたことは あるが内容は わからない	知らない
① 男女雇用機会均等法 (昭和 61 年)	38 社	22	2	0
	61.3%	35.5	3.2	0
② 育児・介護休業法 (平成 4 年)	36 社	23	3	0
	58.1%	37.1	4.8	0
③ パートタイム労働法 (平成 5 年)	30 社	23	8	1
	48.4%	37.1	12.9	1.6
④ 男女共同参画社会基本法 (平成 11 年)	12 社	18	26	6
	19.4%	29.0	41.9	9.7
⑤ 次世代育成支援対策推進法 (平成 15 年)	7 社	14	26	15
	11.3%	22.6	41.9	24.2
⑥ くるみん・プラチナくるみん認定 (平成 15 年)	2 社	14	10	36
	3.2%	22.6	16.1	58.1
⑦ 社員の子育て応援宣言 (平成 19 年)	7 社	12	16	27
	11.3%	19.4	25.8	43.5
⑧ 千曲市男女共同参画推進条例 (平成 24 年)	2 社	10	23	27
	3.2%	16.1	37.1	43.5
⑨ 第 3 次千曲市男女共同参画計画 (平成 27 年)	2 社	8	19	33
	3.2%	12.9	30.6	53.2
⑩ 女性活躍推進法 (平成 27 年)	3 社	17	15	27
	4.8%	27.4	24.2	43.5
⑪ 職場いきいきアドバンスカンパ ニー認証 (平成 27 年)	2 社	8	12	40
	3.2%	12.9	19.4	64.5
⑫ イクボス・温 (あった) かボス宣 言 (平成 28 年)	1 社	11	11	39
	1.6%	17.7	17.7	62.9
⑬ えるぼし認定 (平成 28 年)	0 社	7	8	47
	0%	11.3	12.9	75.8

問7

①産前産後休業制度利用中の社員への給料支援・経済的支援（社会保険料の免除または企業が負担する等）について（〇は1つ）

項目	件数	%
通常勤務時の給料を支給している	8	12.9
通常勤務時の給料を減額(6割・8割等)して支給している	8	12.9
無給である	29	46.8
その他	11	17.7
不明	6	9.7
全体	62	100.0

②育児休業制度について（〇は1つ）

項目	件数	%
就業規則等で整備されている	41	66.1
現在は整備されていないが、整備に向けて検討中である	6	9.7
整備されていない（当面整備する予定はない）	5	8.1
その他	5	8.1
不明	5	8.1
全体	62	100.0

	期間	男性	女性	計
	育児休業	3ヶ月以内	3名	1名
	3～6ヶ月	0名	1名	1名
	6～9ヶ月	1名	0名	1名
	9～12ヶ月	0名	42名	42名
	12ヶ月以上	0名	8名	8名
育児短時間勤務の制度		0名	38名	38名

③育児休業制度利用中の社員への給料支援・経済的支援（社会保険料の免除または企業が負担する等）について（〇は1つ）

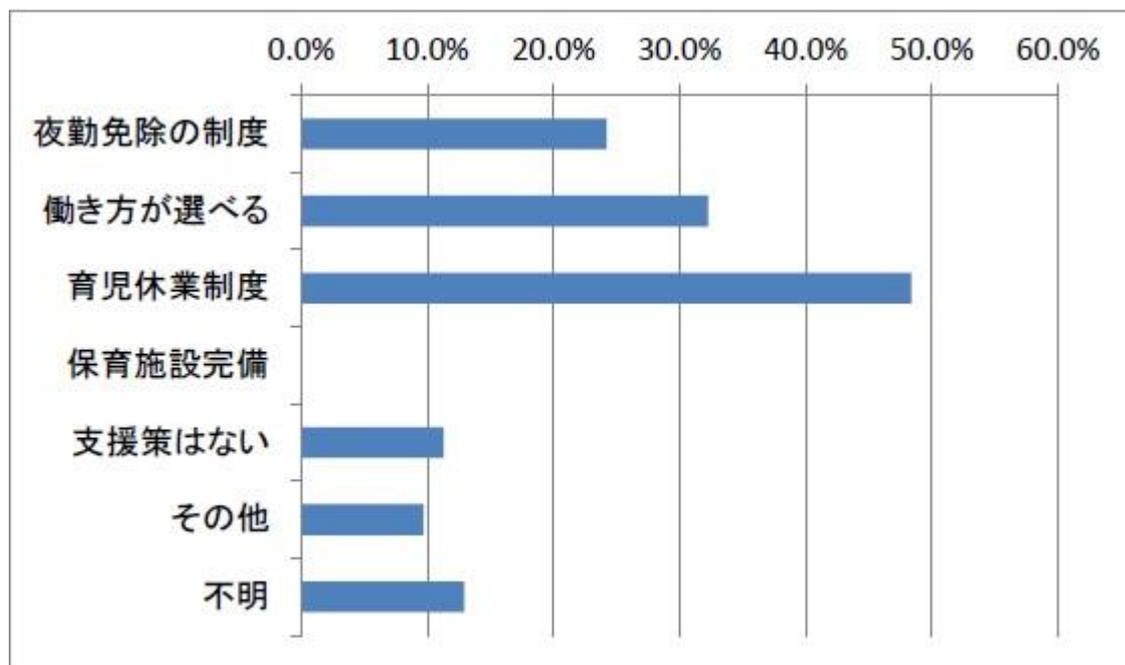
項目	件数	%
通常勤務時の給料を支給している	8	12.9
通常勤務時の給料を減額(6割・8割等)して支給している	7	11.3
無給である	32	51.6
その他	6	9.7
不明	9	14.5
全体	62	100.0

問8 産前産後・育児休業から職場復帰の際、休業前と同じ職場、同じ待遇で勤務している従業員は平成27年4月1日から平成30年3月31日まで、何名いますか。(回答合計)

男性 1 名 女性 13 名

問9 子育て支援策について（あてはまるものに○）

項目	件数	%
3歳未満もしくは、保育所に通園している子どもがいる親（妻）は、夜勤免除の制度がある	15	24.2
子どもが小学生の間ぐらいまでは、夕方早めに帰宅できるなど働き方が選べる	20	32.3
育児休業制度がある	30	48.4
託児または保育施設が完備されている	0	0
子育てについての支援策はない	7	11.3
その他	6	9.7
不明	8	12.9



問 10 **介護休業**制度について (○は1つ)

項 目	件数	%
就業規則等で整備されている	38	61.3
現在は整備されていないが、整備に向けて検討中である	12	19.4
整備されていない (当面整備する予定はない)	7	11.3
その他	2	3.2
不明	3	4.8
全 体	62	100.0

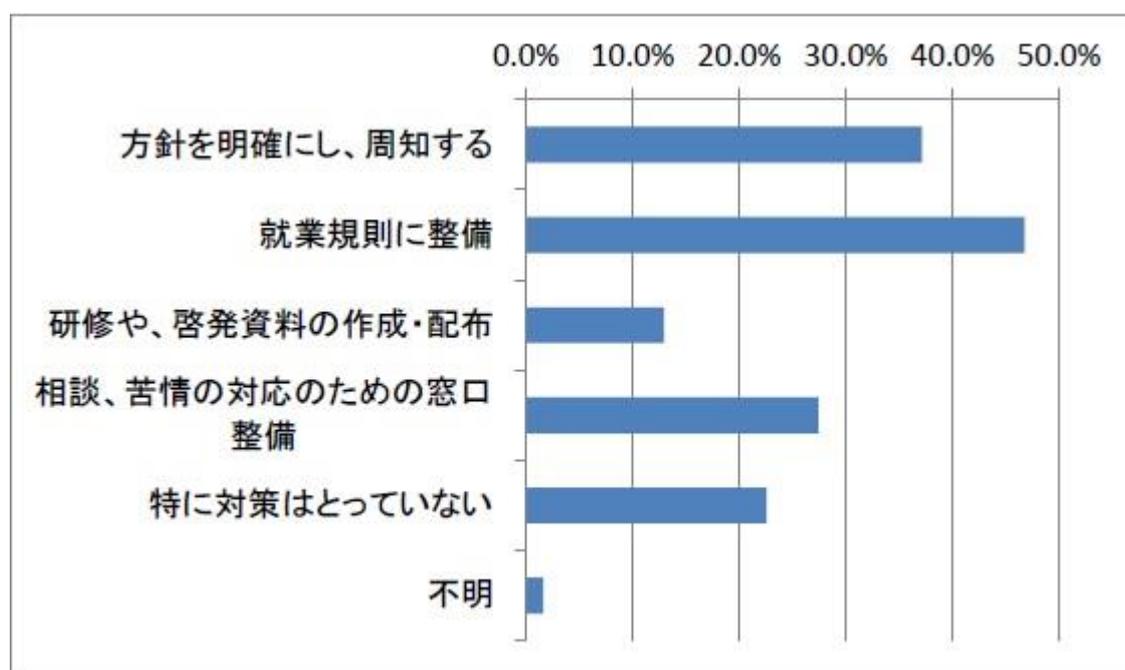
介護休業	期 間	男 性	女 性	計
	3ヶ月以内	0名	1名	1名
	3～6ヶ月	1名	2名	3名
	6～9ヶ月	0名	0名	0名
	9～12ヶ月	0名	1名	1名
	12ヶ月以上	0名	0名	0名
介護短時間勤務の制度		0名	0名	0名

問 11 **介護休暇**制度について (○は1つ)

項 目	件数	%
就業規則等で整備されている	37	59.7
現在は整備されていないが、整備に向けて検討中である	12	19.4
整備されていない (当面整備する予定はない)	9	14.5
その他	1	1.6
不明	3	4.8
全 体	62	100.0

問 1 2 セクシャル・ハラスメント防止の対策について（あてはまるものに○）

項 目	件数	%
事業者として防止に関する方針を明確にし、管理職や社員に周知している	23	37.1
就業規則等に関係規定を整備している	29	46.8
管理職や社員を対象にした研修や、啓発資料の作成・配布をしている	8	12.9
相談、苦情の対応のための窓口を整備し、発生した場合には迅速に対応できる体制をとっている	17	27.4
特に対策はとっていない	14	22.6
不明	1	1.6

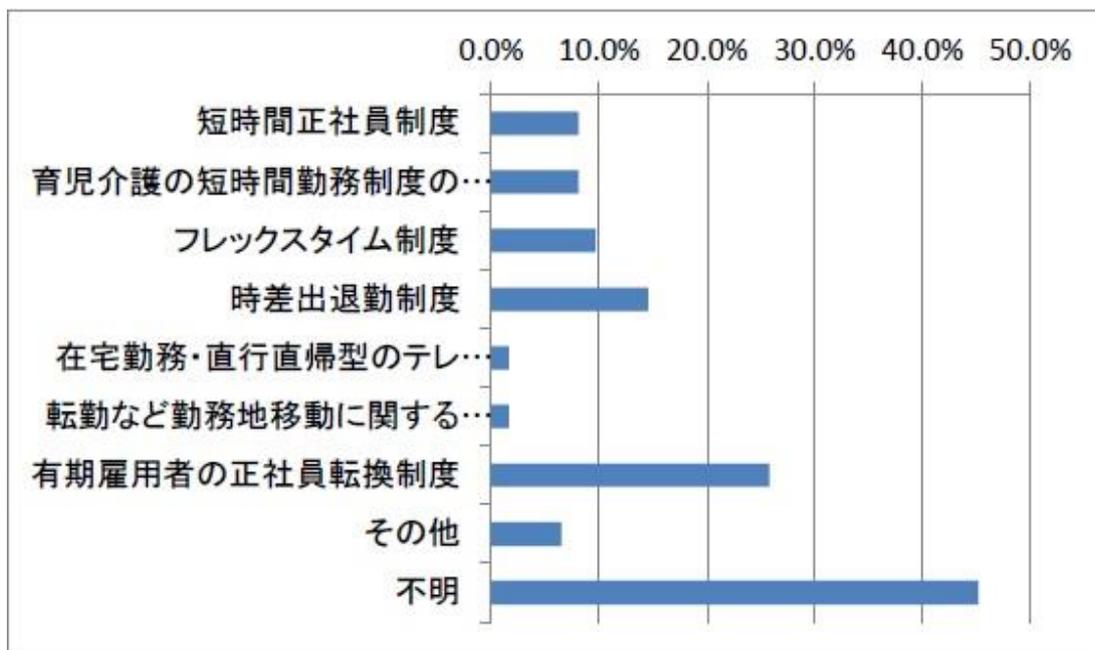


問 1 3 社員の能力の向上や、役職への登用などを目的として開催する研修会等について（あてはまるものに○）

項 目	件数	%
男女とも同じ内容で区別することなく研修会等を開催している	38	61.3
女性と男性では違う内容で研修会等を開催している	1	1.6
女性社員を対象にした研修会などを開催している	2	3.2
主に男性社員を対象として行い、女性社員には特に研修を行っていない	7	11.3
その他	8	12.9
不明	7	11.3

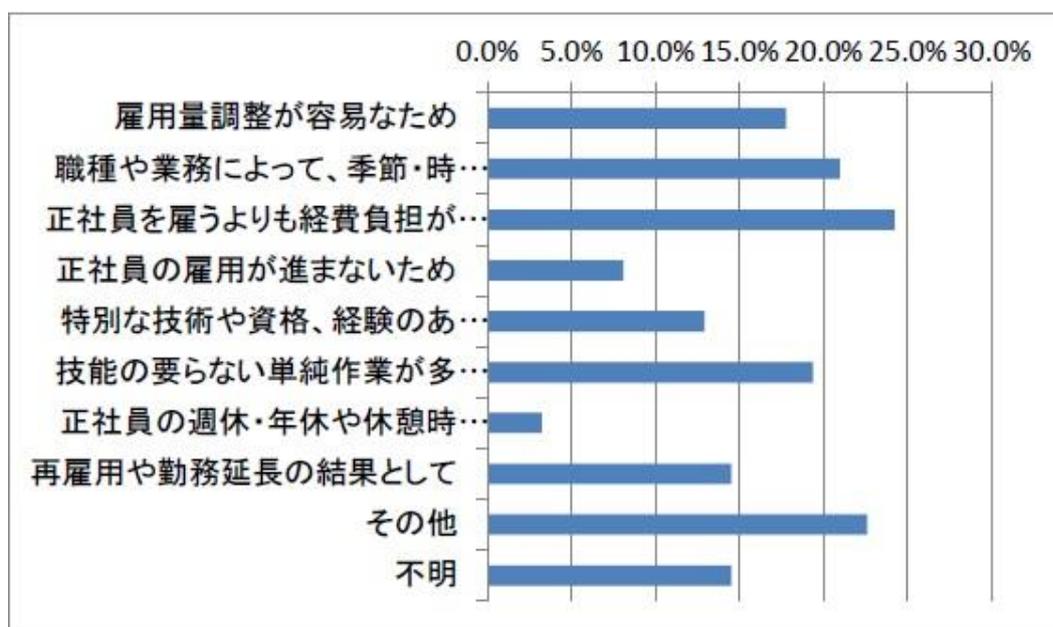
問14 「働き方改革（長時間労働の是正、ワーク・ライフ・バランスの実現）」に関する
制度について（導入している制度に○）

項目	件数	%
短時間正社員制度	5	8.1
育児介護の短時間勤務制度の法定超の取組	5	8.1
フレックスタイム制度	6	9.7
時差出退勤制度	9	14.5
在宅勤務・直行直帰型のテレワークに関する制度	1	1.6
転勤など勤務地移動に関する制度	1	1.6
有期雇用者の正社員転換制度	16	25.8
その他	4	6.5
不明	28	45.2



問15 パートタイム労働者を雇用している理由は何ですか。(〇は2つまで)

項目	件数	%
雇用量調整が容易なため	11	17.7
職種や業務によって、季節・時期・時間帯ごとの繁閑差が大きい	13	21.0
正社員を雇うよりも経費負担が少なくすむため	15	24.2
正社員の雇用が進まないため	5	8.1
特別な技術や資格、経験のある人材が必要なため	8	12.9
技能の要らない単純作業が多いため	12	19.4
正社員の週休・年休や休憩時間などを補うため	2	3.2
再雇用や勤務延長の結果として	9	14.5
その他	14	22.6
不明	9	14.5



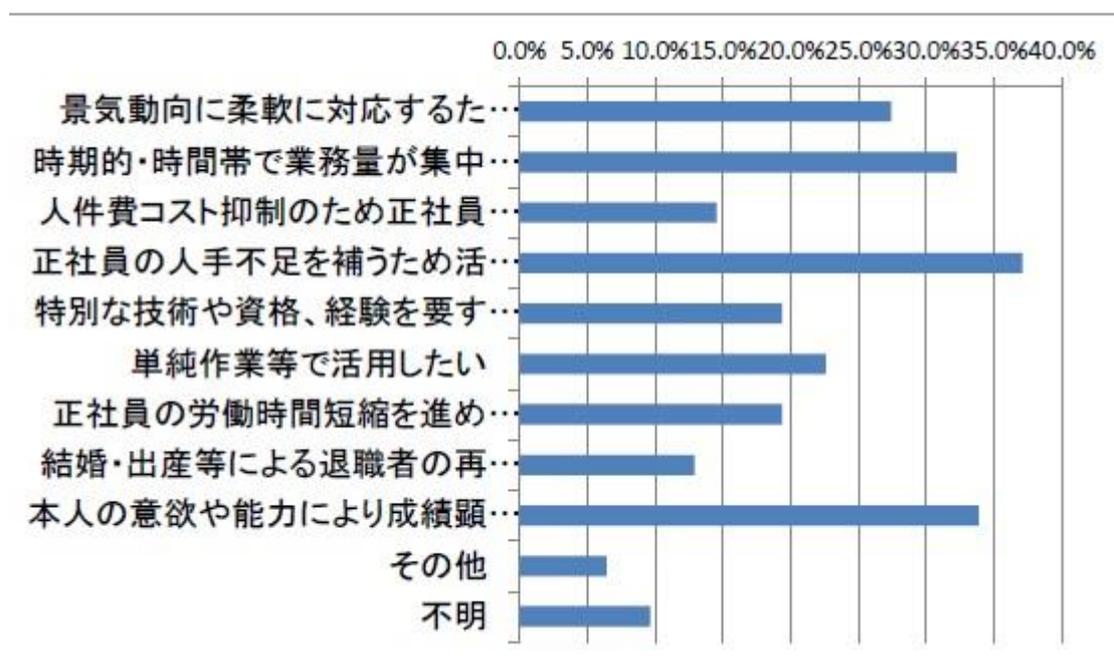
問16 パートタイム労働者の雇用状況はどのようになっていますか。(〇は1つ)

項目	件数	%
欠員補充、代替要員等の一時的な雇用	5	8.1
一年を通じて繁忙期等の特定時期のみ雇用	2	3.2
年間を通じて継続的に雇用	42	67.7
その他	5	8.1
不明	8	12.9
全体	62	100.0

問17 今後のパートタイム労働者の活用方針についてどのようにお考えですか。

(〇はいくつでも)

項目	件数	%
景気動向に柔軟に対応するため活用したい	17	27.4
時期的・時間帯で業務量が集中する職場で積極的に活用したい	20	32.3
人件費コスト抑制のため正社員に替えて活用したい	9	14.5
正社員の人手不足を補うため活用したい	23	37.1
特別な技術や資格、経験を要する仕事で活用したい	12	19.4
単純作業等で活用したい	14	22.6
正社員の労働時間短縮を進めるためにも活用したい	12	19.4
結婚・出産等による退職者の再雇用時の勤務形態として活用したい	8	12.9
本人の意欲や能力により成績顕著なパートタイム労働者を正社員や管理職として活用したい	21	33.9
その他	4	6.5
不明	6	9.7



単純集計(前回との比較)

【市民意識調査】 対象1,000人のうち、回答 H30 391人 ・ H26 354人

(はじめに)あなたご自身のことについてお答えください。

(1)あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

項 目	26年	30年
	件数	件数
男性	159	177
女性	195	208
不明		6
全体	354	391

(2)あなたの年齢階層をお答えください。(○は1つ)

項 目	26年	30年
	件数	件数
20歳代	19	26
30歳代	34	43
40歳代	48	68
50歳代	60	56
60歳代	89	94
70歳以上	104	98
不明		6
全体	354	391

(3)あなたの家族構成をお答えください。(○は1つ)

項 目	26年	30年
	件数	件数
単身世帯	38	47
夫婦のみ	89	96
二世帯世帯	152	156
三世帯世帯	51	51
その他	24	35
不明		6
全体	354	391

(4)あなたの職業についてお答えください。(○は1つ)

項 目	26年	30年
	件数	件数
自営業(商工・サービス業・自由業)	29	38
自営業(農・林・漁業)	26	15
常勤	89	122
フルタイムパート	21	29
パート・アルバイト、内職	45	54
専業主婦、専業主夫	52	55
無職(学生を含む)	91	71
不明	1	7
全体	354	391

問1 現在、世の中は男女平等であると思いますか。
 次あげる①～⑥すべてについてお答えください(○はそれぞれ1つ)

項目		1男性が非常に優遇	2どちらかといえば男性優遇	3平等である	4どちらかといえば女性優遇	5女性が非常に優遇	6わからない	不明	全体
①家庭	26年	42	131	114	24	1	20	22	354
	30年	28	156	147	31	8	14	7	391
②職場	26年	57	167	62	15	2	24	27	354
	30年	50	185	84	19	7	27	19	391
③学校教育	26年	8	25	247	7	2	38	27	354
	30年	7	51	245	7	1	68	12	391
④地域	26年	48	142	78	19	4	33	30	354
	30年	42	191	89	13	3	37	16	391
⑤政治や制度	26年	105	132	51	8	7	23	28	354
	30年	95	201	47	13	2	24	9	391
⑥社会通念・慣習・しきたり	26年	93	162	31	3	3	40	22	354
	30年	100	216	36	6	3	21	9	391

問2 次の事例についてあなたはどのように思いますか。
 (○はそれぞれ1つ)

項目		1そう思う	2どちらかといえばそう思う	3どちらかといえばそう思わない	4そう思わない	不明	全体
①地域や家庭での行事や酒席では、女性は裏方(台所)を引き受けるのが当たり前	26年	54	122	55	86	37	354
	30年	33	163	95	93	7	391
②自治会や公民館・PTAなど団体の代表者は男性が良かったほうが良い	26年	66	91	44	120	33	354
	30年	61	108	93	123	6	391
③女性自身が、責任ある役職につくことを避けようとしている	26年	73	148	51	46	36	354
	30年	54	191	74	67	5	391
④しきたりや、慣習は、自分が嫌だ、時代に合わないと思っても守るべきだ	26年	45	85	78	109	37	354
	30年	25	122	126	108	10	391
⑤女性は文科系、男性は理数系の学問や職業に向いている	26年	8	36	51	221	38	354
	30年	13	56	92	222	8	391
⑥子どもは、女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうが良い	26年	82	112	40	81	39	354
	30年	54	119	92	120	6	391
⑦子どものしつけや教育は、母親の責任である。	26年	14	34	64	205	37	354
	30年	11	37	87	249	7	391
⑧女性は、家庭のことをきちんとしてから仕事に出るべきだ	26年	36	114	68	103	33	354
	30年	16	90	109	167	9	391

問3 あなたは、DV(ドメスティック・バイオレンス)という言葉をご存知ですか。(○は1つ)

項目	26年	30年
	件数	件数
どういう意味か内容をよく知っている	259	308
聞いたことはあるが、内容はよく知らない	60	73
聞いたこともないし、内容も全く知らない	25	7
不明	10	3
全体	354	391

問4 あなたは、配偶者等(事実婚、別居中の夫婦、元配偶者、恋人、元恋人)からDV(身体的暴力・精神的暴言・経済的強制・性的強要、デートDV)など1つでも受けたことはありますか。(○は1つ)

項 目	26年	30年
	件数	件数
1～2度ある	41	52
何度もある	22	26
全くない	278	306
不明	13	7
全体	354	391

問5 性犯罪、夫婦間暴力、セクシャルハラスメントなど女性に対する暴力の対応として、どのようなことが効果的だと思いますか。(○は3つまで)

項 目	26年	30年
	件数	件数
被害者が安心して相談できる窓口の設置	233	259
続けて暴力をうけることのないように、被害者が一時的に避難できる場所の設置	138	160
被害者の相談にあたる担当者の充実や女性担当者の増員	134	137
被害者の支援をする市民団体と関係機関などの連携強化	100	118
学校や家庭における男女平等や性についての教育の充実	107	113
女性の人権尊重等についての県や市町村での啓発活動の充実	44	40
暴力の再発を防ぐための加害者に対するカウンセリングや教育等の実施	102	129
性の商品化や暴力表現等過激な内容についてのメディアにおける倫理規定の強化	56	47
過激な内容のDVD販売や、動画配信等の制限	66	46
その他	12	16
特に対策の必要はない	5	3
不明	13	4
全体	1,010	1,072

問6 「男は仕事、女は家庭」という性別によって役割を固定する考え方について、あなたはどう思いますか。(○は1つ)

項 目	26年	30年
	件数	件数
賛成である	31	15
仕方がないと思う	84	59
あまり好ましくない	273	225
反対である	54	84
不明	19	8
全体	461	391

※H26は複数回答

問6-1 賛成である。仕方がないと思うと答えた方にお聞きします。そう思う理由はなんですか。(○は2つまで)

項 目	26年	30年
	件数	件数
男性は外の仕事、女性は家事・育児・介護に向いているから	43	41
家族を養うのは男の責任で、子育てや夫・両親の世話は女性の責任だから	23	14
妻が働きに出ると家庭に潤いがなくなる	11	25
自分の両親がそのようにしてきたから	7	10
その他	20	11
特に理由はない	11	5
全体	115	106

問6-2 あまり好ましくない。反対である。と答えた方にお聞きします。そう思う理由はなんですか。
(○は2つまで)

項 目	26年 件数	30年 件数
男女とも仕事を持つほうが良いから	43	84
家事・育児・介護は男女が協力してやるべきだから	177	239
仕事と家庭は男女のどちらが分担しても良いから	95	177
妻が家庭にいと視野が狭くなるから	6	17
その他	5	15
特に理由はない	1	5
全体	327	537

問7 女性のチャレンジを支援する取り組みとして、次のような施策はどの程度重要だと思いますか。
(○はそれぞれ1つ)

項 目		1大変重要 である	2重要であ る	3あまり重 要でない	4重要でな い	不明	全体
①家庭や地域での広報 や啓発	26年	50	195	64	13	32	354
	30年	53	226	77	10	25	391
②学校教育での学習の 充実	26年	89	185	42	6	32	354
	30年	98	217	44	10	22	391
③各種審議会へ女性を 積極的に登用	26年	63	194	57	6	34	354
	30年	71	235	56	7	22	391
④経営者や事業主に対 する啓発強化	26年	83	172	52	11	36	354
	30年	85	222	54	5	25	391
⑤仕事と育児・介護両立 のための支援策の充実	26年	174	133	7	3	37	354
	30年	194	168	10	2	17	391
⑥女性のための相談窓 口周知	26年	55	211	45	8	35	354
	30年	73	230	58	7	23	391
⑦発達段階に応じた性教 育の充実、女性の健康支 援	26年	80	179	51	9	35	354
	30年	73	231	57	6	24	391
⑧チャレンジする女性に対 する支援強化	26年	101	176	36	6	35	354
	30年	136	202	26	6	21	391

問8 最近、県・市町村議会の議員や審議会等の政策決定の場に女性が少しずつ増えています。
あなたはこのことについて、どのように思われますか。(○は1つ)

項 目	26年 件数	30年 件数
現在より大幅に増えた方がよい	87	135
現在より少し増えた方がよい	120	154
現状でよい	45	41
現状より少なくてよい	7	7
わからない	28	36
その他	15	14
不明	52	4
全体	354	391

問9 あなたは、政策決定の場に女性が増えることで何を期待しますか。(〇は1つ)

項 目	26年	30年
	件数	件数
政治が身近になる	16	13
男性中心の考え方に変化が生じる	104	127
男女平等や男女共同参画社会に向けた施策が推進される	97	118
行政に対しての要望がきめ細かくなる	61	72
何も期待しない	18	28
わからない	18	22
その他	8	7
不明	32	4
全体	354	391

問10 あなたは、育児休業制度をご存知ですか。または利用したことがありますか(〇は1つ)

項 目	26年	30年
	件数	件数
知っており利用したことがある	23	34
知っているが利用したことがない	248	289
知らなかった	21	26
その他	26	32
不明	36	10
全体	354	391

問10-1 知っているが利用したことがないと答えた方にお聞きます。その理由はなんですか。(〇は2つまで)

項 目	26年	30年
	件数	件数
制度を利用する必要がない	82	164
収入の保証がない	43	32
昇進・昇給などに差し支える	15	9
制度を利用しにくい雰囲気	61	64
興味・関心がない	8	3
制度の対象外	143	
その他	26	53
不明	8	1
全体	386	326

問11 あなたは、介護休業制度をご存知ですか。または利用したことがありますか(〇は1つ)
(平成30年度新設項目)

項 目	30年
	件数
知っており利用したことがある	9
知っているが利用したことがない	247
知らなかった	99
その他	30
不明	6
全体	391

問11-1 知っているが利用したことがないと答えた方にお聞きします。その理由はなんですか。
(○は2つまで)

(平成30年度新設項目)

項 目	30年 件数
制度を利用する必要がない	173
収入の保証がない	33
昇進・昇給などに差し支える	4
制度を利用しにくい雰囲気	49
興味・関心がない	3
その他	25
全体	287

問12 安心して子どもを産み育てるためにはどんなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

項 目	26年 件数	30年 件数
出産・育児に関する経済的な支援の拡充	219	234
子育て中の柔軟な勤務形態の普及	164	206
保育サービスの充実	134	150
出産・子育て後に再就職しやすい制度	157	167
父親が子育てに十分に関わることができる職場環境の整備	95	114
ファミリーサポート事業や放課後児童クラブなど地域の子育て支援の充実	64	87
子育て中の親が相談・交流・情報交換できる場の提供	49	48
産婦人科等医療施設の充実	49	55
わからない	8	9
その他	5	7
全体	944	1,077

問13 男性と女性がともに家事・育児・地域活動などに積極的に参画していくためにどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

項 目	26年 件数	30年 件数
夫婦や家族間でコミュニケーションを図る	226	267
固定的役割分担を押し付けない	198	210
仕事以外の時間を多く持てるようにする	168	173
男性の抵抗感をなくす	131	129
男性の関心を高めるような啓発や情報提供を行なう	111	120
男性が地域活動と仕事との両立などの問題について相談しやすい窓口を設ける	70	66
国や地方自治体などの研修により男性の家事等の技能を高める	81	64
女性の抵抗感をなくす	71	68
特に必要と思うことはない	12	5
その他	13	11
全体	1,081	1,113

問14 日頃の防災や、災害の本部・避難所の運営、復旧・復興等に男女の共同参画、意思決定の場への女性の参画について、あなたはどのように考えますか。(○は1つ)

項 目	26年 件数	30年 件数
男女の人権に配慮した市民の安全、安心を確保するためには重要だと思う	233	250
どちらかといえば重要だと思う	66	87
どちらかといえば重要だと思わない	3	13
重要だと思わない	3	6
わからない	12	26
その他	6	2
不明	31	7
全体	354	391

問15 男女共同参画を実現していくために、次のような施策はどの程度重要だと思いますか。
(○はそれぞれ1つ)

項目		1大変重要である	2重要である	3あまり重要でない	4重要でない	不明	全体
①男女平等とお互いの性について理解する学校教育の充実	26年	137	153	31	5	28	354
	30年	99	239	31	1	21	391
②男女平等の考え方を社会全体に浸透させるための情報提供や学習の充実	26年	93	198	29	4	30	354
	30年	90	254	26	1	20	391
③職場にあける管理職への研修等の充実	26年	77	187	49	6	35	354
	30年	84	231	45	6	25	391
④地域における子育て支援体制の充実	26年	130	172	15	5	32	354
	30年	132	219	15	2	23	391
⑤労働時間の短縮等、男女が家事を分担できる条件整備	26年	105	168	40	6	35	354
	30年	135	199	26	7	24	391
⑥再雇用制度の確立や、男女の再就職のための研修等の充実	26年	105	183	29	1	36	354
	30年	123	214	26	5	23	391
⑦「女性委員の割合は何%以上」といった、女性の参画を計画的に促進するための目標設定	26年	35	126	117	42	34	354
	30年	45	168	130	22	26	391

問16 男女共同参画に関する法律や条例、取り組み等の認知 (平成30年度 新設項目)

項目		知っている	聞いたことはあるが内容は分からない	知らない	不明	全体
①男女雇用機会均等法(昭和61年)	30年	250	100	30	11	391
②育児・介護休業法(平成4年)	30年	230	123	27	11	391
③パートタイム労働法(平成5年)	30年	135	163	81	12	391
④男女共同参画社会基本法(平成11年)	30年	98	166	116	11	391
⑤次世代育成支援対策推進法(平成15年)	30年	34	108	235	14	391
⑥くるみん・プラチナくるみん認定(平成15年)	30年	13	35	332	11	391
⑦社員の子育て応援宣言(平成19年)	30年	18	65	288	20	391
⑧千曲市男女共同参画推進条例(平成24年)	30年	32	111	237	11	391
⑨第3次千曲市男女共同参画計画(平成27年)	30年	32	85	263	11	391
⑩女性活躍推進法(平成27年)	30年	23	89	268	11	391
⑪職場いきいきアドバンスカンパニー認証(平成27年)	30年	2	30	347	12	391
⑫イクボス・温かボス宣言(平成28年)	30年	19	35	325	12	391
⑬えるぼし認定(平成28年)	30年	2	21	355	13	391

* 「男女共同参画について」 自由記述

【抜粋 別紙】 回答者 95人

(ご意見欄)

「男女共同参画」について、普段感じていることをご自由に記入してください。

●各区の常会長・区長などの役職は、昔から男性が選ばれることが当たり前になっている状況がある中で、女性も男性がする仕事と考えている方が多くいらっしゃるせいか行事や会議等の参加者は、男性中心になっている。

参加している女性は、裏方が多い。

●女性が男性に甘えている部分がある。男女共同参画を願うのであれば、女性も男性も同等の仕事をすることも必要である。子育て中の家庭（特に公務員－教員・市職員）優遇されている。1人につき3年育休を取って前のポストに戻れることを当たり前だと思わないでほしい。企業で3年も休めば、前のポストには早々戻れない。

●私自身、「女だから」「女のくせに」と言われることがイヤでした。（今もですが）一時は紅一点の職場で男性同じ仕事（力仕事等）もやってきました。くやしい思いもしました。（体力の差や技術の差ではかありません）

男女平等は良い事だとは思いますが、全てあてはめるのは無理！！家庭においても、男性の役割、女性の役割があり、それぞれを尊重し、支えあう気持ちが一番と思います。お互いをもって気持ちがなければ成り立たないと思う。

うまく表現できませんが、これからの未来が少しでも良くなることを願っています。

●地域の行事にもっと女性が活躍できるような環境が欲しいと思っています。高齢化に伴い厳しい現状ではありますが、参加しやすい施策を推進できるよう協力できる場があってもよいかと思っています。

●社会的には、現状女性中心に回っていると考えているため、このアンケートの意味をあまり理解できない。一方で子育てに対する支援活動は、もっと充実すべき内容であると考えます。なぜなら、各地の施設に預けられている子どもたちは、そうした親の教育や経済力の無さからやむを得ず預けられ、自立までの後押しを受けなければならないからである。女性中心に世界が回らなくてはならない現状は、少子高齢化から子どもを育てる大人の減少、働き手の減少と問題を多く抱えてしまったことによる、子どもを育てる時間の減少が原因であると私は考えます。

●理想的な考えだと思うけど、会社のトップが率先して実行しないと絵に描いた餅だと思う。すごく前から「男女共同参画」を耳にしていますが、私の周りにはたいして変わっていないというのが実感。IT企業や先端のベンチャー企業は、若い社長で、男女平等で働き方も自由で、「男女共同参画」を実行しているイメージがありますが……。外国とかも……。

「女性が活躍する社会」という観点から言うと、女性は子どもを産み育てるといふ一番大切な仕事があるのだから、働く時間帯や休みなど、もっと優遇して欲しいと思います。女性が引け目を感じることなく、安心して子どもを産み育てながら働ける社会環境を整えて欲しいです。

- 男女共同参画等、千曲市は他の市を真似せず、独自の研究をすべき。それには税金を投入してください。
- 理想と現実は違うのですが、女性の場合、子育てが終わり子どもが独り立ちし、ある程度年齢を重ねた状態で、あくせく働かなくても収入に余裕のある方なら活動できるのではないかと思います。
- このようなアンケートにしても、何%女性関わっているのか知りたいです。アンケートに答えながら、女性として疑問や憤りを感じる人が多いです。男性が中心に作っていると感じる人が多いです。女性の立場に立って作っているならもっと違った観点になる気がします。
- 私の住んでいる地域は、あまり男女差がなく居心地の良い土地と思っています。大まかですが56年になりますが仲良く生きており、幸せ感があります。
- 調査アンケートは、できる限り若い世代の方に実施していただいた方が効果的かと思います。
- ・昔の人（老人）にはなじめない言葉。もうちょっと違った表現方法がないものか？
 - ・国の方で、賃金や産前産後の補助、介護の補助等もっと予算をつけるべき。
 - ・産め産めというだけで、保育所の数等、受け入れができないから安心して子ども産めない。北欧のように人口問題を手厚くしないと人口は増えない。
 - ・女性自身が社会へ出て強く生きる心構えができていない。もっと自信を持って生きるよう社会が後押しした方が良い。
- ・性差についての理解が少ない。（議論に際し）
 - ・女性の権利・利点という点に重点が置かれがち。
 - ・家族構成が急速に変わり（3世代家族→核家族→個人）、社会や企業のシステム・仕組み・ルールがその変化に追いつけていない。時代にそぐわなく、困っている家族、個人が増えていると感じる。
- 世代にもよるとは思いますが、まだまだ男は仕事、女は家庭という意識が男性にはあると思います。共働きでも結局子どものことは母親の仕事になってしまう。そのつど”お願い”しないと協力してもらえないのは疲れます。少しずつでも全てのことが男女平等になっていけば、子どもも増えてくるのかな？とも思います。
- 男女平等と言っても男女の違いによる本質的な男女の良さは失いたくない。男らしさ、女らしさも生かしてゆきたい。男性女性に対する尊重、尊敬はお互い持っていたい。
- 現在は、子育ても終わり、会社勤めも終わっているのでわかりません。（80歳以上）
- 私は、子育ても終わり、仕事もやめた年代です。何事も教育が大事だと思います。→家庭・学校・地域社会 他
- このようなアンケートをとってもムダだと思う。変わらない。
- コミュニケーションの充実が重要と考えています。

●私は、男女共同参画コミュニケーターをした、県がスタート時より全体の活動がにぶっている事を感じるが、社会の男女コミュニケーター活動が活発になったからと思うが、国県市の指導者の熱意の問題もあると感じる。

久しぶりに「男女共同参画」についての話が、このアンケートが来た。

今後多くの会議行事等で「啓蒙」する事を県民市民で議題にすべきである。この意識調査に期待する。

●子どもの学校の行事や役員は、現在母親がほとんど行ったりやったりしていますが、もっと父親が参加していくべきだと思う。そうすれば女性も働きやすいし、負担も減り平等になっていくと思う。(学校の役員の負担等ももっと減らしてほしい。PTA活動は強制ではないのに、入学したら強制になっているのもおかしい。やりたい人、やれる人でやってほしい。)

それから、地域の役員に対してもやる事が多すぎ！！

家庭の中でも男の人が非協力的だと結局女性の負担が増える。子育て中は特に大変。定年した家庭にお願いするなどいろいろ対策を考えてほしい。

●まずは、”意識の改革”でしょうか。また、それに向けた取り組みも重要ではないでしょうか。

女性が管理職になりたがらない、結婚と同時に退職すれば良い(寿退社)といった女性側の意識も同様です。

●男は男の仕事、女は女の仕事があるなかで、平等はない。男の収入が減ったのは、女の社会進出。子どもも減ったのは女の社会進出。気づくべきだと思う。小泉首相が民営化してから不況が始まったことを忘れてはいけない。

●男女共に同等に働くことができる事を当たり前にしてほしい。(賃金などの面も)子どものことは、どちらかといえば母親の仕事の部分がまだまだあると思う。

法律や条例などもっと分かりやすく周知できるように広めてほしい。

●男女が男女共同参画社会を実感するには、会社など勤務先を通じていくのが必要と思う。行政から事業所に対しての施策が重要ではないか。また、地域防災も男性は消防団、女性は赤十字など炊き出し、食料担当といった役割の固定化がされており、慣習、しきたりの排除、新しいシステム・体制の切り替えが必要ではないか。

●男性だからできること、できないこと。女性だからできること、できないこと。があると思うので、何でもかんでも男女平等をうたうのは、どうかと思う。

●年代ごとにまだまだ男女の差別を感じることもある。難しい課題だと思う。

●男女という括りではなく、その人の適性、意欲を重視した参画の在り方を検討するのも大事だと思います。

●誰かがこれをやらなくてはならないという固定観念はいけないと思う。できる人、やりたい人はいるのでありがたい存在だ。何事も人任せではいけない。協力が大事だ。

●私（69 歳）の時代は、子どもが小さい間は母親が子育てするのが当然みたいな時代でしたが、3 人の息子たちを見ていると共稼ぎで協力し合って子育ての最中で、今の子育て中の親は大変で良くやっているといます。ますます少子化になっていく今、日本の未来のために、男女関係なく知識を身につけ、就きたい仕事に就き、子育ては安心して子どもを産めるように、国、職場、地域皆でバックアップしていかないと大変なことになると思います。

介護もそうですが、私も死ぬまで体を働かせ、若い人たちに迷惑かけないようにしたいと思っています。

●時代に即した問題であると認識するが、私どもの世代では、自分を変える難しさはありますが、もっとスピードアップがあって世の中を変えていく勇気と努力が必要と考えます。私は 75 歳の男性です。

従来の中でのあり方が良い・・・ということはなく、時代時代に即した生き方を操り、そのためのリスクはありますが、一人一人の意識をもっと勇気を持って、流れに乗っていけるようにする事が大事と思う。

そのため、行政もその後押しできるシステムを構築すべきと考えます。しかも誰にも理解しやすい言葉と、スタッフの養成が大切と考えます。

●いろいろ手を変え、品を変え取り組んだとしても世代が変わらないと、何をしても変わらないと思う。実現には時間がかかる。ただ、やりました。やっています。でもなかなか浸透しません。で終わると思う。

○印が多いことを取り組むのか？それより賛成が多くない少ない意見で、これはというもの、職員の意見で進めたらどうですか。何をしてもいろいろケチをつける市民はいま

す。
あたってくださるので、何か奇抜なことをしてみてください。市民から苦情がきたらその時はその時、びくびくしないで、市民の代表としてやってみてください。大体文句を言う人に限って、表には出てこないんだから。

●男女共同参画といっても、まだまだ不平等だと思います。出産、育児の後の社会復帰がしにくい。正社員じゃないと制度が使えない。育児休暇明けの人（期間が決まっている）じゃないと子どもを保育園に入れにくそう。あずけて、パート等を探そうとするのは難しそうなイメージ。

●近年、千曲市は男女共同参画に積極的に取り組んでいると感じられ、すばらしいことだと思います。女性区長や男性日赤奉仕団長も当たり前な時代となる日を期待しつつ、私も男女共同参画の意識を持ち続けてまいります。

●私の会社には、若い人がいないので男女共同参画と言われても、他人事のような感じ

です。若い人の考え方とは、だいぶ意識の差があると思います。
●男、女 どちらでもできる人が参加したり、行ったりできる環境づくりが大事だと思う。

●男女平等を目指すことは、平等から離れていく事だと思います。知性が高まるにつれ、自分ではできない事への意識は下がる傾向があると思うからです。

誰かが斡旋した役職に平等はあるのでしょうか？

女性が社会的に弱者だから支援をしなければいけないという考えに、この国や自治体は崩壊へ向かうと思います。

悪しき風潮や体制は崩壊すべきかもしれませんが、その悪しき物が支えていた物事にも目を向けるべきです。

物事は常に反対の物事を引き起こすのですから、女性を支援すれば男性は差別意識を覚えます。

男女ではなく、人として一括りに考え、長けた所を負担しあう、そして支え合い感謝しあう社会を目指すべきだと思います。

●男女共同参画社会を推進していく事は必要な事だが、ただ議論するばかりで市議員は真剣にやっているとは思えない。議員はもっと汗を流すべきだ。

●若者と年寄りの考えがまだまだちがう。年寄り”むかし”の考えが強い。自分もそういうところがある。

●公務員、大手企業の話だなというのが正直なところ。小規模な職場では、実際には産休などで離れてしまえば戻るの難しく、職場側でも席を取っておく余裕はないのが現状で、身体的に違う男女が差別、区別なく同じように社会に参加するのは大変なことだと感じます。

ちがいを認め合いながら、よりよい社会になるために取り組むことは大事だと思うので、今後も考えていくことは大事だと思います。

制度はあるけど、空気をよんで、辞めなければという声なくなるようになるといいのですが。一度やめた女性が正社員で採用されるのは、大変です。

●何事においても、男女積極的な参画が絶対条件だと思う。

●男女共同参画はとても大切であると感じます。同時に女性としての責任（今まで男性に頼ってきたこと）も同時に生まれてくるはず。今までの甘えは無くならないと本当の意味での男女共同参画とはいえないと思います。

●今の時代は、賃金が低すぎる。格差がありすぎ。女性の賃金も昔と比べても今の方が安いと思う。今の日本のあり方では、若い人が将来に夢が持てないと言っている。

●共同参画は大変良い事だと思います。

地区の役員の名簿等を見ると、女性の氏名が見当たらないのが残念です。

小学校などでも低学年は女性の先生、高学年は男性の先生が担任になると聞きます。そういうことはどうしてだろうと思います。

●女性議員の数ばかり増えても質が悪ければ口先だけの人になってしまう。幅の広い知識と見識を持った議員（男も女も）が出てくることを期待している。一市民の願いである。

●女性を管理職に、議員に、と言われているが、その力もないのに「女性だから」という数合わせのために入れるのは反対である。能力が十分にあり、その立場に立った人が女性であったとする方が自然だろう。反対に「男性だから」という理由で減ってしまうのも避けなければならない。

女性に対しての手立ても必要だが、同時に男性に対しての手立ても必要だが、後者の方への関心は少ない。

男性が悪者のような風潮さえある。また性別によらないこともLGBTへの理解につながるのでは。

そもそも女性・男性と分けていることそのものが、時代に合わなくなっている。

●現職場は、海外出張、残業、海外出向ありきの状態となっており、女性は補助的な業務という位置づけです。家庭を重視する事は、職場のメインから外れるという事を意味し、女性には厳しいと思います。

こういった実態と理想をどうやってマッチさせていくか、何から考えていけば良いのか・・・と思います。

●職場では、女性の方が役職が上がりにくかったり、そもそも役職をつけてもらえないという方もいるので、仕事をしていると特に男女の格差を感じることが多い。

●人口の減少により、女性の意見を多く聞き、計画的な家庭設計を立て、人口の増加に期待したい。

●子育てにより、女性のキャリアが途切れてしまう現状があり、不安があります。女性のキャリアアップについて、環境を整備し、安心して子育てができる社会に向かってほしいです。よろしくお願いします。

●中小企業と呼ばれる方々、公務員等それぞれ関係ある人は考えることもあると思うのですが、一個人では何ら必要性もなく、聞かれればこうかなと答えるだけのものではないです。

これからの若い人たちは積極的に行動し、女性であつてもできる限り世の中の上に立ち、意見を述べるのが大切だと思います。

とにかく、男性社会よりの考えで成り立ってきた社会ですので、どんどん変えていかれたら良いと思います。

千曲市の政策にしても掲げている事とやっている事がちぐはぐで、納得いかない事もあり、でも、声が届くところもなく・・・。一部のみの計画なのだと思います。

●男女平等は必要であります。

●現在は、まだまだ育児、介護は女性にまかせきりになっている家庭が多いと思います。収入減等の問題で、非常に難しい面がありますので、行政での支援が大切かと思っています。

●「男女共同参画」についての啓蒙活動の大切さを認識すると同時に、制度面の充実を期待する。

●男がもっと意識して行動すべきである。

●育児・家事を男女平等に！と言われても、実際は中小企業に勤務している夫では無理です。まわりの上司、同僚の態度が育休を取れるような雰囲気ではないです。

40代の夫は、親に「育児も家事もやる」とは教わずに育っています。なので、義母も夫にはやらせません。・・・というか夫が動きません。やはり、子どもの頃から両親が分担して家事・育児をする姿を見せることが大切かなーと思い、自分の子ども（息子）にはいろいろ一緒にやらせています。

友人の話ですが、息子が嫁と一緒に家事をやるのをよく思わない義母もいるようです。なので、親世代の考え方も変える必要があるのかなーとも思います。

●社会で活躍したいと願う人が、活躍の場を狭くされる社会であってはならない。小さな子どもがいたり、介護が必要な家族がいたりした場合、家族内でのやりくりだけでは、どうにもならない事もある。短時間勤務（給与が減っても）の制度など、様々な方法が活用できれば良いと思う。それが、「女性は・・・」と広報される事が、女性に対する差別のように感じる。男性、女性それぞれやりたい事ができるようであってほしいと思う。

現在、活躍したい女性が、活躍しづらいところもありますが、女性の中にも都合よく、面倒なところから逃げている場もあるように思う。

●今の時代に”男と女”という区別が必要なのかと思うことが多々あります。しかし古い考えを払拭する気がないのも事実。特にお偉い方々ほど。

女性として、今後管理職等につきたいかと言われれば、家庭をおろそかにしてまで、自分が自分の時間を持てなくなるまで働きたいとは思えない。管理職にこだわらず、この社会は、子育てしている女性にとって働きづらい環境でしかない。

何か変わってほしい・・・と思うけれど、きっと変わらないんでしょうね。

●私たち年齢では、昔からの家風、決め事が各家庭にあり、今の時代のように思うがままに行動する事ができませんでした。今は、若い人たちが、自分の思った事に対し、意見、行動ができることが本当に良い事と思います。

私たちとの時代の差かも知れません。

●女性の就労と活躍が大事な課題であることに異論はないが、逆に「お母さんになるのが夢」という人を否定するようなことがあってはならない。

●近年、男女平等であるべきと叫ばれているが、真の平等とは存在するのだろうか？男性・女性の持っている個性があるはずで、お互いにそれを認め合い、譲り合う気持ちが必要だと思う。

従来 of 女性職場に男性が進出したり、その逆もある訳で、男女の能力にさしたる違いはなく、お互いが切磋琢磨していくことが寛容と考える。

●男女問わず、子育て・仕事・介護、皆が必ず経験するもの。国、社会の全面協力を（良き方向に）願います。

●知らないことが多くておどろいた。

●私の母が亡くなって、とても男女差別と思ったことがありました。年金制度です。62才で亡くなり、父の年金の話を知ると少しばかり戻ってきただけとの事です。亡くなった後、女性は遺族年金は支払われず・・・。男性が亡くなると女性は遺族年金が支払われるシステム、これはやっぱりおかしいと思います。みんなが年金を平等に払っていて、男性だって女性側がいなくなれば大変なのに、絶対におかしい。男女平等と言っているのに、一番大切な部分が変わらない。年をとって生きていくのはとても大変な事なのに！！

60代、70代、80代の男性は、「男子厨房に入らず」と育ってきた人たちです。できる事が限られます。女性の助けが必要なのに・・・。

男女平等になる時代なんて来るのでしょうか？疑問に思う日々です。

●男女共同参画社会基本法について、大変申し訳ありませんがよく知らないです。この法律を勉強することから進めていきます。

●多様な個性（性別、障害の有無を含め）が認め合える社会が理想です。法律、条例、計画について無関心であったと思い知りました。もっと身近になるよう啓発していただければと思います。

●より良い社会づくり、まちづくりを常に意識して生活していれば、何が必要なのか見えてくると思う。自分自身、家族経営の飲食店なので、仕事・家事・育児・介護までほとんど女性が担う部分が多く大変です。

外に目を向ける時間が無いのが現実です・・・。

なので、結婚して、子育てしながらでも社会へ参加して活躍できる女性が増えていくことを願います。

良い実現できる政策をお願いします。

●女性の意識が高まらないといけないと思う。そのために何をすべきか、これが問題だと思います。

●職場での男女平等の取り組みは、ある程度進んでいると思うが、地域の活動ではまだまだ男性中心（特に高齢の方）であると感じます

●議員や審議会委員の数について 男女平等→単なる数あわせだけならナンセンスと考える。

●地域の当番制の役でも女性は「こういうことは男性で」という考えがあり、結局は男性が選ばれる。

仕事においても「これは男性が・・・」という認識を持つ女性が多く、セクハラになることを恐れ、男性が行なう。

最近、草食男子と呼ばれて久しいが、女性を守る制度が多くなり、それに傘さしている女性が多くなってきたと感じる。女性に対しての教育も必要と考えるが、いかがか？

この男性社会をつくりあげたのは、大奥において男性をあやつる女性たちがつくりあげたものではないだろうか。

●無作為に1,000名を選んだそうですが、その中に私が入ったことが少し嬉しい気持ちになりました。それは、特別に選ばれたことが嬉しいのではなく、アンケートが男女共同参画についてだったからうれしかったのです。私は、今でも数少ない育児休業取得経験者の一人です。数年前8か月の育児休業を取得しました。そんな私がアンケートに答えさせてもらえるということが嬉しかったのです。

そんな思いを持ちながら、アンケートに答えさせてもらいました。男女共同参画の理想としている社会の実現には、男性の認識の変化が必要と言われますが、男性の認識の変化を受け入れる側の女性の意識の変化も必要だと思います。つまり、社会全体の認識が必要ということになりますが……。

男性の中には「イクメン」と呼ばれる育児に参加する意識の高い人が多くなっていますが、依然として周りの人たちは、そんな人たちを特別に見がちです。会社から早く帰ったり、子どものお迎えに行ったり、病院に連れて行ったり。夕飯を作ったり、参観日などの学校行事に出たり、PTA活動に参加したり……。お母さんがやるものという意識を持っている人が断然多い気がします。だから、そういうことをしたいと思う人でもやりづらいです。男性がそういうことをしようとしてもまわりがなんで男性がするの？みたいな雰囲気があります。男性も女性も関係なくそういう人が多いです。

男性も女性も働きやすい社会にするためには、自分も含めてですが、男女問わず意識改革が必要な気がします。

●自分も高齢になり、今は迷惑かけないように身体を健康に保つことが一番かな。市のボランティアにはもう13年続けているのも仲間の助け合いなどがあり続けられていると思います。

これからは、若者たち、若い主婦たちの活躍のためにも市、国の援助が大切だと思います。法令、条例等についても知らない事が多く、もっと勉強しないといけないと感じました。

●若いお父さん、お母さんが平等に働き、家事・育児もできるといいですね。

私たちの時代とは違い、女性も外に出ています。皆、男女協力してやってほしいです。

●「男女共同参画」について、普段からほとんど見聞しない。

●法令、条例等のアンケートでは、はっきりと内容までわかっているものがなかったことにびっくりしました。自分自身でももっと関心を持たなければいけないなと反省しました。

●子育てをしている間、我が家では子ども中心でTVもNHK教育（朝のみ）、アニメなどしか観ておらず、ニュースや新聞も見ることなく毎日が過ぎてしまっています。法令・条例等のアンケートで知らないことが多くて驚きました。

男女共同参画……。とても大切なことであると同時にとても難しくあるものだと感じます。

●男性50%女性50%と同じ土俵での話し合いができる環境を作ることが必要ではないかと思います。それができてからがスタートだと思っています。

●千曲市に越してきて、近所の年配の男性から「引越ししてもあいさつにもこない」と何回も言われたり、子どもはまだかなど心ない言葉に悲しくなった。

地域の集まりでも、年配の男性ばかりで女性が参加するのは無理だと思う。

特に、年配の方の意識が変わらないと男女共同は難しいと思う。

千曲市は、子どもの一時預かりの施設が少なすぎる。失業中で仕事を探しているが、ハローワークに行くにも、面接に行くにも誰にも子どもを預けられず、本当に困っています。

●地域の育成会、公民館、区の長をもっと女性に受けてもらう取り組みを市で発信してほしい。

同じようなことだが、趣味のサークルとかも圧倒的に女性が多くても、少ない男性から責任者（長）が選出される。風潮かもしれないが、ここら辺から開拓しなければならない。地域全体が保守的に感じられる。

●まだ、アルバイトしかやってきてないが、管理職の社員は男性しか見たことがない。男らしくや女らしくみたいな習慣（？）みたいなのがまだある。そういう考えが男女差別化の元になっていると思う。

●男女の体の仕組みは違うので、すべて同じとはいきませんが、男女の役割を固定する考え方は、時代の変化とともに変えるべきだと思います。

●条例や計画について「そんな名前、生活のどこにも出てこないんですけど？」というくらい実体を知らない（周知されていない）ものが多かったです。これって、行政はやってるつもりだけど・・・っていう奴ではないのかな？と思いました。本当に有効な政策ならば「こういう政策があって助けになるのです」と勝手に広まると思います。

もしも本当に男女平等が実現できているのであれば、片親家庭であっても「安心して子育てができる」だろうと思います。現実はどうでしょうか？片親どころか、両親がいても「子どもを持つことができない」社会ですよ？役員に女性が何人いれば良いとかという話ではなく、「生活できない」レベルの話なのに、なんだかずれてるなーと思っています。

パートしか用意されていないのに何か活躍だよってのが、女性の本音じゃないですか？

●まだ男女共同参画に、古いしきたり、慣習が残っているため、女性の参画が遅れていると思う。

女性の持つ能力をもっと生かせる社会にしないといけない。

●法律や条例を知らないという事は、男女共同参画は浸透していないという事でしょう。

●普段生活している中で、男女の不平等を感じることはない。でも、子育てに関して、男性がもっと積極的にかかわっていけるような社会の雰囲気や、制度を充実させいてく必要があると思う。

●その人、その家、みんな違う。それぞれの家のやり方でいいのではないのでしょうか。男だから女だから、どうでもいいのでは。どちらかができる方が行なえばいいと思う。

「男女共同参画」すぐには変わらないし、変えるつもりもない。

育児も今は男性も参加しているし、介護、家族が力を合わせないと一人ではどうしようもない。他人だと許せる事も、身内だと怒ってしまうし、手を上げる事もあると思う。そんな時、助けて欲しい相談できる人（窓口）があればいい。

行政もだいぶ充実してきていると思う。

●女性がもっと表舞台で活躍できる社会にすべき。

我が職場、表向きは男女平等をうたってはいるが、本音は・・・。

女性は脇役しかさせていない。最前線の難しい仕事は、全て男の役割、男女共にそのような意識しか持っていない。

かけ声だけ、社会全体がそのようになっていかないと、なかなか改善されない。

●いつの時代も男は男らしく、女は女らしくありたい。役割分担は、その家庭の事情で異なると思いますが、男も女も子どももできる時に、できる事を、できる人がやるようにしたい。

社会でもレベルのある女性は、それなりに活躍してもらいたい。

でも男の人の上に立ってはならない。そんな時代に生まれた私です。

●人間としての共同、平等はとても大事で必要な事と考えていますが、女性と男性の性異。人間性の違いについての教育が非常になされていなく、今日の社会の姿を心配しています。

共同、平等のみばかりが前面に出されている感があり、そのひずみが男性、女性に対する無理解、ストレス、社会のルールなどに表れていると思います。

共同参画と並行して、ぜひ力を入れて教育していただきたい。

【企業意識調査】 対象100社のうち、回答 H30 62社 ・ H26 49社

○ 貴社の概要について伺います。

問1 業種はなんですか。(○は1つ)

項 目	26年	30年
	件数	件数
建設業	6	8
製造業	14	27
運輸・通信業	2	2
卸・小売業、飲食店	11	7
金融・保険業	2	1
サービス業	7	14
その他	7	3
全体	49	62

問2 従業員は何名ですか。

項 目	26年	30年
	件数	件数
10人未満	14	16
30人未満	16	24
50人未満	2	6
100人未満	3	8
100人以上	13	8
不明	1	0
全体	49	62

○ 女性労働者の就労実態について伺います。

問3 管理職や監督職は何名ですか。

項 目	26年		30年	
	総数	女性	総数	女性
管理職(課長相当職以上)	603	28	474	42
監督職(係長、班長等相当職以上)	766	88	454	97
全体	1,369	116	928	139

問4 今後女性を役職(管理職・監督職)へと要することについてどのようにお考えですか。(○は1つ)

項 目	26年	30年
	件数	件数
本人の能力や意思によって男女の区別なく役職へ登用したい	36	47
女性に適した職種や業務については役職へ登用したい	12	11
今後とも女性を役職へ登用するつもりはない	1	3
その他	0	0
不明	0	1
全体	49	62

問5 女性の活用についてどのようにお考えですか。(○は1つ)

項 目	26年	30年
	件数	件数
男女の区別なく幅広い活用を図っている	34	40
女性は特定の職種や専門分野でのみ活用を図っている	13	16
女性は補助的な業務でのみ活用を図っている	0	4
女性の雇用管理上むずかしい面があるので、活用には限界がある	1	1
その他	1	1
全体	49	62

○ 貴社の制度や規則について伺います。

問6 男女共同参画に関する法律や条例、取り組み等の認知

項 目	26年	30年	知っている 実行している	知っている	聞いたことは あるが内容は 分からない	知らない	不明	全体
①男女雇用機会均等法(昭和61年)	26年	26	15	1	0	6	48	
	30年	38	22	2	0	0	62	
②育児・介護休業法(平成4年)	26年	25	13	5	0	6	49	
	30年	36	23	3	0	0	62	
③パートタイム労働法(平成5年)	26年	22	19	2	0	6	49	
	30年	30	23	8	1	0	62	
④男女共同参画社会基本法(平成11年)	26年	14	17	8	3	7	49	
	30年	12	18	26	6	0	62	
⑤次世代育成支援対策推進法(平成15年)	26年	11	13	7	13	5	49	
	30年	7	14	26	15	0	62	
⑥くるみん・プラチナくるみん認定(平成15年)	26年							
	30年	2	14	10	36	0	62	
⑦社員の子育て応援宣言(平成19年)	26年							
	30年	7	12	16	27	0	62	
⑧千曲市男女共同参画推進条例(平成24年)	26年							
	30年	2	10	23	27	0	62	
⑨第3次千曲市男女共同参画計画(平成27年)	26年							
	30年	2	8	19	33	0	62	
⑩女性活躍推進法(平成27年)	26年							
	30年	3	17	15	27	0	62	
⑪職場いきいきアドバンスカンパニー認証(平成27年)	26年							
	30年	2	8	12	40	0	62	
⑫イクボス・温かボス宣言(平成28年)	26年							
	30年	1	11	11	39	0	62	
⑬えるぼし認定(平成28年)	26年							
	30年	0	7	8	47	0	62	

問7 ①産前産後休業制度利用中の社員への給料支援・経済的支援について(○は1つ)

項 目	26年 件数	30年 件数
通常勤務時の給料を支給している	1	8
通常勤務時の給料を減額(6割・8割等)して支給している	6	8
無給である	24	29
その他	13	11
不明	5	6
全体	49	62

②育児休業制度について(○は1つ)

項 目	26年 件数	30年 件数
就業規則等で整備されている	31	41
現在は整備されていないが、整備に向けて検討中である	4	6
整備されていない(当面整備する予定はない)	10	5
その他	1	5
不明	3	5
全体	49	62

③育児休業制度利用中の社員への給料支援・経済的支援について(○は1つ)

項 目	26年 件数	30年 件数
通常勤務時の給料を支給している	0	8
通常勤務時の給料を減額(6割・8割等)して支給している	6	7
無給である	24	32
その他	13	6
不明	6	9
全体	49	62

問8 産前産後・育児休業から職場復帰の際、休業前と同じ職場、待遇で勤務している従業員は何人いますか。(H30は、H27.4.1～H30.3.31間の人数)

項 目	26年 人数	30年 人数
男性		1
女性	107	13
全体	107	14

問9 子育て支援策について(あてはまるものに○)

項 目	26年 件数	30年 件数
3歳未満もしくは、保育所に通園している子どもがいる親(妻)は夜勤免除の制度がある	11	15
子どもが小学生の間ぐらまでは、夕方早めに帰宅できるなど働き方が選べる	17	20
育児休業制度がある	29	30
託児または保育施設が完備されている	0	0
子育てについての支援策はない	11	7
その他	3	6
不明	3	8
全体	74	86

問10 介護休業制度について(○は1つ)

(平成30年度新設項目)

項 目	30年 件数
就業規則等で整備されている	38
現在は整備されていないが、整備に向けて検討中である	12
整備されていない(当面整備する予定はない)	7
その他	2
不明	3
全体	62

問11 介護休暇制度について(○は1つ)

項 目	26年 件数	30年 件数
就業規則等で整備されている	26	37
現在は整備されていないが、整備に向けて検討中である	8	12
整備されていない(当面整備する予定はない)	11	9
その他	1	1
不明	3	3
全体	49	62

問12 セクシャル・ハラスメント防止の対策について(あてはまるものに○)

項 目	26年	30年
	件数	件数
事業者として防止に関する方針を明確にし、管理職や社員に周知している	22	23
就業規則等に関係規定を整備している	19	29
管理職や社員を対象にした研修や、啓発資料の作成・配布をしている	14	8
相談、苦情の対応のための窓口を整備し、発生した場合には迅速に対応できる体制をとっている	20	17
特に対策はとっていない	13	14
不明	1	1
全体	89	92

問13 社員の能力の向上や、役職への登用などを目的として開催する研修会等について(あてはまるものに○)

項 目	26年	30年
	件数	件数
男女とも同じ内容で区別することなく研修会を開催している	38	38
女性と男性では違う内容で研修会等を開催している	0	1
女性のパワーアップや役職への登用を目的として、女性社員を対象にした研修会などを開催している	6	2
主に男性社員を対象として行い、女性社員には特に研修を行っていない	4	7
その他	5	8
不明	1	7
全体	54	63

問14 「働き方改革」に関する制度について(導入している制度に○)

(平成30年度新設項目)

項 目	30年
	件数
短時間正社員制度	5
育児介護の短時間勤務制度の法定超の取り組み	5
フレックスタイム制度	6
時差出退勤制度	9
在宅勤務・直行直帰型のテレワークに関する制度	1
転勤など勤務地移動に関する制度	1
有期雇用者の正社員転換制度	16
その他	4
不明	28
全体	75

○貴社のパートタイム労働者について伺います。

問15 パートタイム労働者を雇用している理由は何ですか。(○は2つまで)

項 目	26年	30年
	件数	件数
雇用量調整が容易なため	8	11
職種や業務によって、季節・時期・時間帯ごとの繁閑差が大きい	8	13
正社員を雇うよりも経費負担が少なくてすむため	8	15
正社員の雇用が進まないため	6	5
特別な技術や資格、経験のある人材が必要なため	2	8
技能の要らない単純作業が多いため	3	12
正社員の週休・年休や休憩時間などを補うため	2	2
再雇用や勤務延長の結果として	9	9
その他	9	14
不明	4	9
全体	59	98

問16 パートタイム労働者の雇用状況はどのようになっていますか。(〇は1つ)

項 目	26年 件数	30年 件数
欠員補充、代替要因等の一時的な雇用	2	5
一年を通じて繁忙期等の特定時期のみ雇用	1	2
年間を通じて継続的に雇用	37	42
その他	3	5
不明	6	8
全体	49	62

問17 今後のパートタイム労働者の活用方針についてどのようにお考えですか。(〇はいくつでも)

項 目	26年 件数	30年 件数
景気動向に柔軟に対応するために活用したい	9	17
時期的・時間帯で業務量が集中する職場で積極的に活用したい	15	20
人件費コスト抑制のため正社員に替えて活用したい	10	9
正社員の人手不足を補うため活用したい	20	23
特別な技術や資格、経験を要する仕事で活用したい	6	12
単純作業等で活用したい	10	14
正社員の労働時間短縮を進めるためにも活用したい	13	12
結婚・出産等による退職者の再雇用時の勤務形態として活用したい	9	8
本人の意欲や能力により成績顕著なパートタイム労働者を正社員や管理職として活用したい	17	21
その他	4	4
不明	6	6
全体	119	146

3. 分析と考察（前回調査との比較に当たって）

今回の意識調査について、前回平成 26 年に実施した調査同様、市民を 1,000 人、企業を 100 社としたところ、回答は、市民 391 人、企業 62 社（前回市民 354 人、企業 49 社）となったため、最初の分析として、前回調査との数の比較を試みた。

どの質問に対しても、大幅な意識の変化は見当たらなかったものの、この 5 年間に企業の女性役職登用の状況や男女共同参画への市民の関心等、向上したと考えられる回答結果も散見された。

1. 回答数について

市民については、前回の調査と比べ、回答者数が増え、特に男性回答者及び 30 代・40 代の年齢階層の回答が増えた。

また、企業については回答が 60%を越え、製造業・サービス業の企業及び従業員 30 人未満の企業の回答が増えた。

男女共同参画について、自分の問題として捉えていただける市民、企業が増加したと伺える。

【29 ページ・47 ページ問 1 参照】

2. 性別による男女の役割の固定化について

「男は仕事、女は家庭」という男女の役割を固定する考え方について、反対する意見の中で、「家事・育児・介護は男女が協力してやるべき」・「仕事と家庭は男女のどちらが分担しても良い」の項目への回答が圧倒的に多く、家庭での男女共同参画が垣間見える結果となった。

【31 ページ問 6 参照】

3. 女性の管理職・監督職登用について

管理職・監督職登用の数について、前回の調査と比べ、全体の総数は減少しているものの、女性の登用は増加している結果となった。

今後の役職の登用についても、本人の能力や意思によって男女の区別無く、幅広く登用していきたいと考える企業が大多数を占めた。

【47 ページ問 3・4・5 参照】

4. 男女共同参画に関する法律や条例取り組み等の認知について

前回は企業だけの設問としていた「男女共同参画に関する法律等」について、市民へも同様の設問を設定した。

結果は、市民、企業とも「男女雇用機会均等法」、「育児・介護休業法」などについては、高い認知度となった。しかし、平成 15 年度以降制定された法律や施策については「知らない」との回答が多く、市民の認知度が低いという結果となった。

【35 ページ問 16・48 ページ問 6 参照】

◆市民意識調査 クロス集計表

1)性別 2)年齢 3)家族構成

	全体	性別・年齢				家族構成																		
		全体	①男性	②女性	③不明	全体	①単身世帯			②夫婦のみ			③二世帯世帯			④三世帯世帯			⑤その他			⑬無回答		
						全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	
合計	391	391	177	208	6	391	47	15	32	96	156	51	35	6										
%	100.0	100	45.3	53.2	1.5	100	12.0			24.6	39.9	13.0	9	1.5										
男性	177	177				177	15			49	74	24	15	0										
%	45.3	100				100	8.5			27.7	41.8	13.6	8.5	0										
女性	208	208				208	32			47	82	27	20	0										
%	53.2	100				100	15.4			22.6	39.4	13	9.6	0										
不明	6	6				6	0			0	0	0	0	6										
%	1.5	1.5				1.5																		
20歳代	26	26	8	18	0	26	5	0	5	3	1	2	8	2	6	4	2	2	6	3	3	0	0	0
%	6.6	100	30.8	69.2	0	100	19.2	0	19.2	11.5	3.8	7.7	30.8	7.7	23.1	15.4	7.7	7.7	23.1	11.5	11.5	0	0	0
30歳代	43	43	20	23	0	43	7	2	5	2	1	1	28	12	16	5	4	1	1	1	0	0	0	0
%	11.0	100	46.5	53.5	0	100	16.3	4.7	11.6	4.7	2.3	2.3	65.1	27.9	37.2	11.6	9.3	2.3	2.3	2.3	0	0	0	0
40歳代	68	68	30	38	0	68	10	5	5	10	5	5	35	14	21	6	2	4	7	4	3	0	0	0
%	17.4	100	44.1	55.9	0	100	14.7	7.4	7.4	14.7	7.4	7.4	51.5	20.6	30.9	8.8	2.9	5.9	10.3	5.9	4.4	0	0	0
50歳代	56	56	23	33	0	56	5	2	3	10	3	7	30	15	15	9	3	6	2	0	2	0	0	0
%	14.3	100	41.1	58.9	0	100	8.9	3.6	5.4	17.9	5.4	12.5	53.6	26.8	26.8	16.1	5.4	10.7	3.6	0	3.6	0	0	0
60歳代	94	94	44	50	0	94	5	2	3	37	17	20	29	15	14	13	7	6	10	3	7	0	0	0
%	24.0	100	46.8	53.2	0	100	5.3	2.1	3.2	39.4	18.1	21.3	30.9	16	14.9	13.8	7.4	6.4	10.6	3.2	7.4	0	0	0
70歳代以上	98	98	52	46	0	98	15	4	11	34	22	12	26	16	10	14	6	8	9	4	5	0	0	0
%	25.1	100	53.1	46.9	0	100	15.3	4.1	11.2	34.7	22.4	12.2	26.5	16.3	10.2	14.3	6.1	8.2	9.2	4.1	5.1	0	0	0
無回答	6	6	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0

4)職業

	全体	職業																					無回答	
		全体	①自営業(商工・サービス業・自由業)			②自営業(農林漁業)			③常勤			④フルタイムパート			⑤パート・アルバイト、内職			⑥専業主婦・主夫			⑦無職			
			全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性		女性
合計	391	391	38	21	17	15	9	6	122	79	43	29	9	20	54	13	41	55	2	53	71	43	28	7
%	100.0	100	9.7	5.4	4.3	3.9	2.3	1.5	31.2	20.2	11	7.4	2.3	5.1	13.8	3.3	10.5	14.1	0.5	13.6	18.2	11	7.2	1.8
男性	177	177	21			9			79			9			13			2			43			1
%	45.3	100																						
女性	208	208	17			6			43			20			41			53			28			0
%	53.2	100																						
不明	6	6	0			0			0			0			0			0			0			6
%	1.5	0				0			0			0			0			0			0			0
20歳代	26		1	0	1	0	0	0	15	5	10	3	0	3	4	2	2	0	0	0	3	1	2	0
%	6.6		3.8	0	3.8	0	0	0	57.7	19.2	38.5	11.5	0	11.5	15.4	7.7	7.7	0	0	0	11.5	3.8	7.7	0
30歳代	43		2	1	1	0	0	0	25	17	8	7	1	6	3	0	3	5	0	5	1	1	0	0
%	11.0		4.7	2.3	2.3	0	0	0	58.1	39.5	18.6	16.3	2.3	14	7	0	7	11.6	0	11.6	2.3	2.3	0	0
40歳代	68		3	1	2	0	0	0	36	25	11	9	2	7	14	0	14	2	0	2	4	2	2	0
%	17.4		4.4	1.5	2.9	0	0	0	52.9	36.8	16.2	13.2	2.9	10.3	20.6	0	20.6	2.9	0	2.9	5.9	2.9	2.9	0.0
50歳代	56		12	7	5	2	1	1	24	14	10	3	0	3	9	0	9	2	0	2	4	1	3	0
%	14.3		21.4	12.5	8.9	3.6	1.8	1.8	42.9	25	17.9	5.4	0	5.4	16.1	0	16.1	3.6	0	3.6	7.1	1.8	5.4	0
60歳代	94		13	7	6	6	2	4	20	16	4	7	6	1	17	6	11	19	1	18	12	6	6	0
%	24.0		13.8	7.4	6.4	6.4	2.1	4.3	21.3	17	4.3	7.4	6.4	1.1	18.1	6.4	11.7	20.2	1.1	19.1	12.8	6.4	6.4	0
70歳代以上	98		7	5	2	7	6	1	2	2	0	0	0	0	7	5	2	27	1	26	47	32	15	1
%	25.1		7.1	5.1	2	7.1	6.1	1	2	2	0	0	0	0	7.1	5.1	2	27.6	1	26.5	48	32.7	15.3	1
無回答	6		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6

問1 世の中は男女平等であるか

	全体	(1)家庭							(2)職場							(3)学校教育						
		1)男性の方が優遇	2)どちらかといえば男性優遇	3)平等	4)どちらかといえば女性優遇	5)女性のほうが優遇	6)わからない	13)無回答	1)男性の方が優遇	2)どちらかといえば男性優遇	3)平等	4)どちらかといえば女性優遇	5)女性のほうが優遇	6)わからない	13)無回答	1)男性の方が優遇	2)どちらかといえば男性優遇	3)平等	4)どちらかといえば女性優遇	5)女性のほうが優遇	6)わからない	13)無回答
合計	391	28	156	147	31	8	14	7	50	185	84	19	7	27	19	7	51	245	7	1	68	12
%	100.0	7.2	39.9	37.6	7.9	2.0	3.6	1.8	12.8	47.3	21.5	4.9	1.8	6.9	4.9	1.7	13.0	62.7	1.8	0.3	17.4	3.1
男性	177	8	57	84	18	3	4	3	20	79	46	9	4	11	8	3	22	113	4	1	28	6
%	45.3	4.5	32.2	47.4	10.2	1.7	2.3	1.7	11.3	44.6	25.9	5.1	2.3	6.2	4.5	1.7	12.4	63.8	2.3	0.6	15.8	3.4
女性	208	20	96	63	13	4	9	3	29	103	38	10	3	16	9	4	29	129	3	0	39	4
%	53.2	9.6	46.1	30.3	6.3	1.9	4.3	1.4	13.9	49.5	18.3	4.8	1.4	7.7	4.3	1.9	13.9	62	1.4	0	18.8	1.9
無回答	6	0	3	0	0	1	1	1	1	3	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	1	2
20歳代	26	1	5	12	4	1	3	0	2	13	5	4	0	1	1	0	3	16	1	0	5	1
%	6.6	3.8	19.2	46.2	15.4	3.8	11.5	0	7.7	50	19.3	15.4	0	3.8	3.8	0	11.5	61.5	3.8	0	19.2	3.8
30歳代	43	4	19	16	3	1	0	0	9	20	8	3	1	2	0	2	8	26	0	0	7	0
%	11.0	9.3	44.2	37.2	7	2.3	0	0	20.9	46.5	18.6	7	2.3	4.7	0	4.7	18.6	60.5	0	0	16.3	0
40歳代	68	8	24	27	5	2	2	0	9	34	19	0	2	4	0	2	7	43	2	0	14	0
%	17.4	11.8	35.3	39.7	7.4	2.9	2.9	0	13.3	50	27.9	0	2.9	5.9	0	2.9	10.3	63.2	2.9	0	20.6	0
50歳代	56	6	18	22	3	2	5	0	4	22	17	6	4	3	0	1	8	38	0	1	7	1
%	14.3	10.7	32.2	39.3	5.4	3.6	8.9	0	7.1	39.3	30.4	10.7	7.1	5.4	0	1.8	14.3	67.8	0	1.8	12.5	1.8
60歳代	94	4	46	31	9	1	1	2	16	45	21	4	0	4	4	0	12	60	3	0	17	2
%	24.0	4.3	48.9	33	9.6	1.1	1.1	2.1	17	47.9	22.3	4.3	0	4.3	4.3	0	12.8	63.8	3.2	0	18.1	2.1
70歳代	98	5	41	39	7	0	2	4	9	48	14	2	0	13	12	2	13	59	1	0	17	6
%	25.1	5.1	41.9	39.8	7.1	0	2	4.1	9.2	49	14.3	2	0	13.3	12.2	2	13.3	60.2	1	0	17.3	6.1
無回答	6.0	0	3	0	0	1	1	1	1	3	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	1	2

	全体	(4)地域							(5)政治や制度							(6)社会通念・慣習・しきたり						
		1)男性の方が優遇	2)どちらかといえば男性優遇	3)平等	4)どちらかといえば女性優遇	5)女性のほうが優遇	6)わからない	13)無回答	1)男性の方が優遇	2)どちらかといえば男性優遇	3)平等	4)どちらかといえば女性優遇	5)女性のほうが優遇	6)わからない	13)無回答	1)男性の方が優遇	2)どちらかといえば男性優遇	3)平等	4)どちらかといえば女性優遇	5)女性のほうが優遇	6)わからない	13)無回答
合計	391	42	191	89	13	3	37	16	95	201	47	13	2	24	9	100	216	36	6	3	21	9
%	100	10.7	48.8	22.8	3.3	0.8	9.5	4.1	24.2	51.4	12	3.3	0.5	6.1	2.3	25.6	55.2	9.2	1.5	0.8	5.4	2.3
男性	177	16	89	42	7	2	12	9	34	86	34	9	2	7	5	39	97	24	5	2	6	4
%	45.3	9	50.3	23.7	4	1.1	6.8	5.1	19.2	48.6	19.2	5.1	1.1	4	2.8	22	54.8	13.6	2.8	1.1	3.4	2.3
女性	208	26	98	47	6	1	25	5	60	114	11	4	0	17	2	60	116	12	1	1	15	3
%	53.2	12.5	47.1	22.6	2.9	0.5	12	2.4	28.8	54.8	5.3	1.9	0	8.2	1	28.8	55.8	5.8	0.5	0.5	7.2	1.4
無回答	6	0	4	0	0	0	0	2	1	1	2	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	2
20歳代	26	1	10	7	1	0	6	1	6	6	6	3	1	3	1	5	12	1	1	2	4	1
%	6.6	3.8	38.5	26.9	3.8	0	23.1	3.8	23.1	23.1	23.1	11.5	3.8	11.5	3.8	19.2	46.2	3.8	3.8	7.7	15.3	3.8
30歳代	43	7	20	8	3	0	5	0	16	19	5	2	0	1	0	14	21	5	1	0	2	0
%	11	16.3	46.5	18.6	7	0	11.6	0	37.2	44.2	11.6	4.7	0	2.3	0	32.6	48.8	11.6	2.3	0	4.7	0
40歳代	68	9	21	24	2	1	10	1	11	39	9	2	0	7	0	20	30	11	1	0	5	1
%	17.4	13.2	30.9	35.3	2.9	1.5	14.7	1.5	16.2	57.4	13.2	2.9	0	10.3	0	29.4	44.1	16.2	1.5	0	7.4	1.5
50歳代	56	3	26	14	4	1	8	0	10	34	4	3	0	5	0	15	33	3	1	1	2	1
%	14.3	5.4	46.4	25	7.1	1.8	14.3	0	17.9	60.7	7.1	5.4	0	8.9	0	26.8	58.9	5.3	1.8	1.8	3.6	1.8
60歳代	94	11	63	12	0	0	4	4	26	55	7	1	0	3	2	23	61	5	0	0	3	2
%	24	11.7	67	12.8	0	0	4.3	4.3	27.7	58.6	7.4	1.1	0	3.2	2.1	24.5	64.9	5.3	0	0	3.2	2.1
70歳代	98	11	47	24	3	1	4	8	25	47	14	2	1	5	4	22	56	11	2	0	5	2
%	25.1	11.2	48	24.5	3.1	1	4.1	8.2	25.6	48	14.3	2	1	5.1	4.1	22.4	57.1	11.2	2	0	5.1	2
無回答	6	0	4	0	0	0	0	2	1	1	2	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	2

問2 次の事例についてどう考えるか

	全体	1) 酒席では裏方は女性					2) 自治会等の代表者は男性が良い					3) 女性が役職を避ける					4) しきたり、慣習は守るべき				
		1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばばそう思わない	4 そう思わない	5 無回答	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばばそう思わない	4 そう思わない	5 無回答	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばばそう思わない	4 そう思わない	5 無回答	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばばそう思わない	4 そう思わない	5 無回答
合計	391	33	163	95	93	7	61	108	93	123	6	54	191	74	67	5	25	122	126	108	10
%	100	8.4	41.7	24.3	23.8	1.8	15.7	27.6	23.8	31.5	1.5	13.8	48.8	18.9	17.1	1.3	6.4	31.2	32.2	27.6	2.6
男性	177	8	69	55	42	3	16	35	48	76	2	28	87	29	32	1	16	52	52	53	4
%	45.3	4.5	39	31.1	23.7	1.7	9	19.8	27.1	42.9	1.1	15.8	49.2	16.4	18.1	0.6	9	29.4	29.4	29.9	2.3
女性	208	25	94	38	49	2	44	73	43	46	2	26	102	44	34	2	9	68	73	54	4
%	53.2	12	45.2	18.3	23.6	1	21.2	35.1	20.7	22.1	1	12.5	49	21.2	16.3	1	4.3	32.7	35.1	26	1.9
不明	6	0	0	2	2	2	1	0	2	1	2	0	2	1	1	2	0	2	1	1	2
20歳代	26	3	11	4	8	0	1	9	5	11	0	2	9	8	7	0	0	8	8	10	0
%	6.6	11.5	42.3	15.4	30.7	0	3.8	34.6	19.2	42.3	0	7.6	34.6	30.8	26.9	0	0	30.8	30.8	38.5	0
30歳代	43	3	17	8	15	0	7	9	11	16	0	4	24	9	6	0	1	9	14	19	0
%	11	7	39.5	18.6	34.9	0	16.3	20.9	25.6	37.2	0	9.3	55.8	21	14	0	2.4	20.9	32.6	44.2	0
40歳代	68	8	17	20	22	1	10	20	17	19	2	7	34	13	13	1	5	22	23	16	2
%	17.4	11.8	25	29.4	32.3	1.5	14.7	29.4	25	27.9	2.9	10.3	50	19.1	19.1	1.5	7.4	32.4	33.8	23.5	2.9
50歳代	56	3	24	11	17	1	14	16	7	19	0	9	30	10	7	0	1	22	18	14	1
%	14.3	5.4	42.9	19.6	30.4	1.8	25	28.6	12.5	33.9	0	16.1	53.6	17.9	12.5	0	1.8	39.3	32.1	25	1.8
60歳代	94	7	48	22	17	0	11	30	23	30	0	12	42	20	20	0	7	21	38	27	1
%	24	7.4	51	23.4	18.1	0	11.7	31.9	24.5	31.9	0	12.8	44.6	21.3	21.3	0	7.4	22.3	40.4	28.7	1.1
70歳代	98	9	46	28	12	3	17	24	28	27	2	20	50	13	13	2	11	38	24	21	4
%	25.1	9.2	46.9	28.6	12.2	3.1	17.3	24.5	28.6	27.6	2	20.4	51	13.2	13.3	2	11.2	38.8	24.5	21.4	4.1
無回答	6	0	0	2	2	2	1	0	2	1	2	0	2	1	1	2	0	2	1	1	2

	全体	5) 女性は文系、男性は理系の職業が向いてい					6) 女の子は女らしく男の子は男らしく育てる					7) 子供のしつけは母親の責任					8) 女性は家庭をきちんとして仕事に出るべき				
		1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばばそう思わない	4 そう思わない	5 無回答	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばばそう思わない	4 そう思わない	5 無回答	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばばそう思わない	4 そう思わない	5 無回答	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばばそう思わない	4 そう思わない	5 無回答
合計	391	13	56	92	222	8	54	119	92	120	6	11	37	87	249	7	16	90	109	167	9
%	100	3.3	14.3	23.5	56.8	2	13.8	30.4	23.5	30.7	1.5	2.8	9.5	22.3	63.7	1.7	4.1	23	27.9	42.7	2.3
男性	177	4	28	39	103	3	34	60	40	41	2	5	14	40	116	2	6	32	65	71	3
%	45.3	2.3	15.8	22	58.2	1.7	19.2	33.9	22.6	23.2	1.2	2.9	7.9	22.6	65.5	1.1	3.4	18.1	36.7	40.1	1.7
女性	208	9	27	53	116	3	19	58	51	77	3	6	23	45	131	3	10	57	44	93	4
%	53.2	4.3	13	25.5	55.7	1.4	9.1	27.9	24.5	37	1.4	2.9	11.1	21.6	63	1.4	4.8	27.4	21.2	44.7	1.9
無回答	6	0	1	0	3	2	1	1	1	2	1	0	0	2	2	2	0	1	0	3	2
20歳代	26	0	6	4	16	0	2	5	8	11	0	1	0	5	20	0	0	3	8	15	0
%	6.6	0	23.1	15.4	61.5	0	7.7	19.2	30.8	42.3	0	3.8	0	19.2	76.9	0	0	11.5	30.8	57.7	0
30歳代	43	0	6	15	22	0	7	14	13	9	0	1	3	10	29	0	2	5	18	17	1
%	11	0	14	34.9	51.2	0	16.3	32.6	30.2	20.9	0	2.3	7	23.3	67.4	0	4.7	11.6	41.9	39.5	2.3
40歳代	68	0	10	13	43	2	7	26	15	18	2	1	10	15	40	2	1	22	13	30	2
%	17.4	0	14.7	19.1	63.2	2.9	10.3	38.2	22.1	26.5	2.9	1.5	14.7	22	58.8	2.9	1.5	32.4	19.1	44.1	2.9
50歳代	56	1	6	13	36	0	6	15	12	23	0	0	6	11	39	0	3	10	12	30	1
%	14.3	1.8	10.7	23.2	64.3	0	10.7	26.8	21.4	41.1	0	0	10.7	19.6	69.6	0	5.4	17.8	21.4	53.6	1.8
60歳代	94	5	11	21	56	1	13	25	26	30	0	3	6	24	61	0	4	30	25	35	0
%	24	5.3	11.7	22.3	59.6	1.1	13.8	26.6	27.7	31.9	0	3.2	6.4	25.5	64.9	0	4.3	31.9	26.6	37.2	0
70歳代	98	7	16	26	46	3	18	33	17	27	3	5	12	20	58	3	6	19	33	37	3
%	25.1	7.1	16.3	26.5	46.9	3.1	18.4	33.7	17.3	27.6	3.1	5.1	12.2	20.4	59.2	3.1	6.1	19.4	33.7	37.8	3.1
無回答	6	0	1	0	3	2	1	1	1	2	1	0	0	2	2	2	0	1	0	3	2

問3・問4・問5

	全体	問3 DVという言葉を知っているか				問4 配偶者等からDVを受けたことがあるか				問5 女性に対する暴力への対応(複数回答)												
		1)内容をよく知っている	2)よく知らない	3)全く知らない	13)無回答	1)1~2度ある	2)何度もある	3)全くない	13)無回答	1)被害者が安心して相談できる窓口	2)被害者が一時的に避難できる場	3)担当者の充実や女性担当者の増	4)市民団体など関係機関との連携	5)学校家庭での教育の充実	6)県や市町村での啓発活動の充実	7)加害者に対するカウンセリング	8)メディアにおける倫理規定の強化	9)DVA販売、動画配信等制限	10)その他	11)対策の必要はない	13)無回答	
合計	391	308	73	7	3	52	26	306	7	259	160	136	118	113	40	129	47	46	16	3	5	
%	100	78.8	18.7	1.8	0.8	13.3	6.6	78.3	1.8	66.2	40.9	34.8	30.2	28.9	10.2	33.0	12.0	11.8	4.1	0.8	1.3	
男性	177	135	39	3	0	13	4	156	4	119	68	76	46	61	21	49	19	14	8	3	1	
%	45.3	76.3	22.0	1.7	0.0	7.3	2.3	88.1	2.3	67.2	38.4	42.9	26.0	34.5	11.9	27.7	10.7	7.9	4.5	1.7	0.6	
女性	208	169	34	3	2	37	21	148	2	136	89	57	71	52	19	77	28	32	8	0	3	
%	53.2	81.3	16.3	1.4	1	17.8	10.1	71.2	1	65.4	42.8	27.4	34.1	25	9.1	37	13.5	15.4	3.8	0	1.4	
無回答	6	4	0	1	1	2	1	2	1	4	3	3	1	0	0	3	0	0	0	0	1	
20歳代	26	23	3	0	0	1	0	25	0	11	16	9	11	6	2	8	1	0	3	0	0	
%	6.6	88.5	11.5	0	0	3.8	0	96.2	0	42.3	61.5	34.6	42.3	23.1	7.7	30.8	3.8	0	11.5	0	0	
30歳代	43	34	9	0	0	5	5	33	0	27	16	15	11	13	6	17	3	4	3	0	0	
%	11	79.1	20.9	0	0	11.6	11.6	76.7	0	62.8	37.2	34.9	25.6	30.2	14	39.5	7	9.3	7	0	0	
40歳代	68	59	8	1	0	7	4	57	0	41	42	16	15	18	5	25	8	8	5	1	0	
%	17.4	86.8	11.7	1.5	0	10.3	5.9	83.8	0	60.3	61.8	23.5	22.1	26.5	7.4	36.8	11.8	11.8	7.4	1.5	0	
50歳代	56	51	5	0	0	9	6	41	0	39	24	21	19	15	6	19	5	5	2	1	1	
%	14.3	91	8.9	0	0	16.1	10.7	73.2	0	69.6	42.9	37.5	33.9	26.8	10.7	33.9	8.9	8.9	3.6	1.8	1.8	
60歳代	94	76	17	0	1	12	7	73	2	73	37	31	31	28	7	30	16	9	1	0	2	
%	24	80.9	18.1	0	1.1	12.8	7.4	77.7	2.1	77.7	39.4	33	33	29.8	7.4	31.9	17	9.6	1.1	0	2.1	
70歳代	98	61	31	5	1	16	3	75	4	64	22	41	30	33	14	27	14	20	2	1	1	
%	25.1	62.2	31.6	5.1	1	16.3	3.1	76.5	4.1	65.3	22.4	41.8	30.6	33.7	14.3	27.6	14.3	20.4	2	1	1	
無回答	6	4	0	1	1	2	1	2	1	4	3	3	1	0	0	3	0	0	0	0	1	

問6 「男は仕事、女は家庭」についての考え

	全体	AI 1)賛成(複数回答)						2)仕方がないと思う(複数回答)						3)あまり好きくない(複数回答)						4)反対である(複数回答)						13)無回答
		1)男性は外、女性は家事、育児、介護に向いているの	2)家族を養うのは男の責任、子育て、夫、両親の世話は女の責任	3)妻が働くと家庭に潤いがなくなる	4)自分の親がそうしてきた	5)その他	6)理由なし	1)男性は外、女性は家事、育児、介護に向いているの	2)家族を養うのは男の責任、子育て、夫、両親の世話は女の責任	3)妻が働くと家庭に潤いがなくなる	4)自分の親がそうしてきた	5)その他	6)理由なし	1)男女とも仕事を持つ方が良い	2)家事・育児・介護は協力してやるべきだから	3)仕事と家庭は男女どちらが分担してもよい	4)妻が家庭にいると視野が狭くなる	5)その他	6)理由なし	1)男女とも仕事を持つ方が良い	2)家事・育児・介護は協力してやるべきだから	3)仕事と家庭は男女どちらが分担してもよい	4)妻が家庭にいると視野が狭くなる	5)その他	6)理由なし	
合計	391	8	6	5	2	0	0	33	6	19	8	11	5	63	171	123	14	8	4	19	66	52	3	7	1	8
%	100	2	1.5	1.3	0.5	0	0	8.4	1.5	4.9	2	2.8	1.3	16.1	43.7	31.5	3.6	2	1	4.9	16.9	13.3	0.8	1.8	0.3	2
男性	177	8	5	5	1	0	0	16	3	7	3	5	1	35	66	48	7	7	2	8	31	23	0	3	0	2
%	45.3	4.5	2.8	2.8	0.6	0	0	9	1.7	4	1.7	2.8	0.6	19.8	37.3	27.1	4	4	1.1	4.5	17.5	13	0	1.7	0	1.1
女性	208	0	1	0	0	0	0	16	3	12	5	5	4	27	104	74	7	1	2	10	35	28	3	4	1	5
%	53.2	0	0.5	0	0	0	0	7.7	1.4	5.8	2.4	2.4	1.9	13	50	35.6	3.4	0.5	1	4.8	16.8	13.5	1.4	1.9	0.5	2.4
無回答	6	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
20歳代	26	1	1	0	0	0	0	2	0	1	3	2	0	3	11	7	0	1	1	1	6	3	0	1	0	0
%	6.6	3.8	3.8	0	0	0	0	7.7	0	3.8	11.5	7.7	0	11.5	42.3	26.9	0	3.8	3.8	3.8	23.1	11.5	0	3.8	0	0
30歳代	43	0	0	0	0	0	0	6	2	2	1	2	2	4	17	8	1	1	0	3	5	4	0	1	0	0
%	11	0	0	0	0	0	0	14	4.7	4.7	2.3	4.7	4.7	9.3	39.5	18.6	2.3	2.3	0	7	11.6	9.3	0	2.3	0	0
40歳代	68	1	2	2	1	0	0	4	1	2	0	2	1	7	37	31	1	3	1	2	7	10	0	3	0	1
%	17.4	1.5	2.9	2.9	1.5	0	0	5.9	1.5	2.9	0	2.9	1.5	10.3	54.4	45.6	1.5	4.4	1.5	2.9	10.3	14.7	0	4.4	0	1.5
50歳代	56	0	0	0	0	0	0	7	1	3	0	2	0	9	23	18	3	1	1	3	11	12	0	0	0	1
%	14.3	0	0	0	0	0	0	12.5	1.8	5.4	0	3.6	0	16.1	41.1	32.1	5.4	1.8	1.8	5.4	19.6	21.4	0	0	0	1.8
60歳代	94	3	2	2	0	0	0	7	1	6	1	1	1	16	37	31	4	2	1	2	18	13	2	2	0	1
%	24	3.2	2.1	2.1	0	0	0	7.4	1.1	6.4	1.1	1.1	1.1	17	39.4	33	4.3	2.1	1.1	2.1	19.1	13.8	2.1	2.1	0	1.1
70歳代	98	2	1	1	0	0	0	6	1	5	3	1	1	23	45	27	5	0	0	7	19	9	1	0	1	4
%	25.1	2	1	1	0	0	0	6.1	1	5.1	3.1	1	1	23.5	45.9	27.6	5.1	0	0	7.1	19.4	9.2	1	0	1	4.1
無回答	6	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1

問7 女性のチャレンジを支援する取組の重要度について

	全体	1) 家庭や地域における広報、啓発					2) 学校教育の場での学習充実					3) 各種審議会へ女性積極的登用					4) 経営者や事業主に対する啓発強化				
		1大変重要	2重要	3あまり重要でない	4重要でない	13無回答	1大変重要	2重要	3あまり重要でない	4重要でない	13無回答	1大変重要	2重要	3あまり重要でない	4重要でない	13無回答	1大変重要	2重要	3あまり重要でない	4重要でない	13無回答
合計	391	53	226	77	10	25	98	217	44	10	22	71	235	56	7	22	85	222	54	5	25
%	100	13.6	57.8	19.7	2.6	6.4	25.1	55.5	11.3	2.6	5.6	18.2	60.1	14.3	1.8	5.6	21.7	56.8	13.8	1.3	6.4
男性	177	28	101	35	6	7	46	103	15	7	6	35	110	22	6	4	44	96	26	4	7
%	45.3	15.8	57.1	19.8	3.4	4	26	58.2	8.5	4	3.4	19.8	62.1	12.4	3.4	2.3	24.9	54.2	14.7	2.3	3.9
女性	208	25	122	41	4	16	52	111	28	3	14	36	122	33	1	16	41	123	28	1	15
%	53.2	12	58.7	19.7	2	7.7	25	53.4	13.5	1.4	6.7	17.3	58.7	15.9	0.5	7.7	19.7	59.1	13.5	0.5	7.2
無回答	6	0	3	1	0	2	0	3	1	0	2	0	3	1	0	2	0	3	0	0	3
20歳代	26	3	16	3	3	1	6	16	1	3	0	5	12	7	2	0	4	16	4	2	0
%	6.6	11.5	61.5	11.5	11.5	3.8	23.1	61.5	3.8	11.5	0	19.2	46.2	26.9	7.7	0	15.4	61.5	15.4	7.7	0
30歳代	43	9	23	10	1	0	13	25	3	2	0	9	28	5	1	0	11	30	2	0	0
%	11	21	53.5	23.3	2.3	0	30.2	58.1	7	4.7	0	21.0	65.1	11.6	2.3	0	25.6	69.8	4.7	0	0
40歳代	68	6	35	22	3	2	15	38	11	2	2	9	38	15	4	2	16	33	14	2	3
%	17.4	8.8	51.4	32.4	4.4	2.9	22.1	55.9	16.2	2.9	2.9	13.2	55.9	22.1	5.9	2.9	23.5	48.5	20.6	2.9	4.4
50歳代	56	5	32	15	2	2	14	30	8	2	2	6	36	13	0	1	11	32	10	1	2
%	14.3	8.9	57.1	26.8	3.6	3.6	25	53.6	14.3	3.6	3.6	10.7	64.3	23.2	0	1.8	19.6	57.1	17.9	1.8	3.6
60歳代	94	12	64	12	1	5	26	55	7	1	5	20	63	7	0	4	21	60	9	0	4
%	24	12.8	68.1	12.8	1.1	5.3	27.7	58.5	7.4	1.1	5.3	21.3	67	7.4	0	4.3	22.3	63.8	9.6	0	4.3
70歳代	98	18	53	14	0	13	24	50	13	0	11	22	55	8	0	13	22	48	15	0	13
%	25.1	18.4	54.1	14.3	0	13.3	24.5	51	13.2	0	11.3	22.4	56.1	8.2	0	13.3	22.4	49	15.3	0	13.3
無回答	6	0	3	1	0	2	0	3	1	0	2	0	3	1	0	2	0	3	0	0	3
	391	53	226	77	10	25	98	217	44	10	22	71	235	56	7	22	85	222	54	5	25

	全体	5) しごとと育児・介護両立のための支援策の充実					6) 女性のための相談窓口周知					7) 発達段階に応じた性教育の充実、女性の健康					8) チャレンジする女性に対する支援強化				
		1大変重要	2重要	3あまり重要でない	4重要でない	13無回答	1大変重要	2重要	3あまり重要でない	4重要でない	13無回答	1大変重要	2重要	3あまり重要でない	4重要でない	13無回答	1大変重要	2重要	3あまり重要でない	4重要でない	13無回答
合計	391	194	168	10	2	17	73	230	58	7	23	73	231	57	6	24	136	202	26	6	21
%	100	49.6	43	2.6	0.5	4.3	18.7	58.8	14.8	1.8	5.9	18.7	59.1	14.6	1.5	6.1	34.8	51.7	6.6	1.5	5.4
男性	177	78	86	5	2	6	29	106	28	6	8	35	101	28	5	8	58	92	16	5	6
%	45.3	44.1	48.6	2.8	1.1	3.4	16.4	59.9	15.8	3.4	4.5	19.8	57.1	15.8	2.8	4.5	32.8	52	9	2.8	3.3
女性	208	113	81	5	0	9	44	121	29	1	13	37	127	29	1	14	78	107	9	1	13
%	53.2	54.3	38.9	2.4	0	4.3	21.2	58.2	13.9	0.5	6.3	17.8	61.1	13.9	0.5	6.7	37.5	51.4	4.3	0.5	6.3
無回答	6	3	1	0	0	2	0	3	1	0	2	1	3	0	0	2	0	3	1	0	2
20歳代	26	15	10	1	0	0	8	9	7	2	0	7	14	4	1	0	12	10	3	1	0
%	6.6	57.7	38.5	3.8	0	0	30.8	34.6	26.9	7.7	0	26.9	53.8	15.4	3.8	0	46.1	38.5	11.5	3.8	0
30歳代	43	24	18	1	0	0	9	27	5	1	1	9	27	7	0	0	20	18	5	0	0
%	11	55.9	41.9	2.3	0	0	20.9	62.8	11.6	2.4	2.3	20.9	62.8	16.3	0	0	46.5	41.9	11.6	0	0
40歳代	68	41	19	4	2	2	9	38	15	4	2	9	37	17	3	2	21	39	4	3	1
%	17.4	60.3	27.9	5.9	2.9	2.9	13.2	55.9	22.1	5.9	2.9	13.2	54.4	25	4.4	2.9	30.8	57.4	5.9	4.4	1.5
50歳代	56	29	24	1	0	2	9	35	9	0	3	6	36	11	0	3	19	31	2	1	3
%	14.3	51.8	42.8	1.8	0	3.6	16.1	62.5	16.1	0	5.4	10.7	64.3	19.6	0	5.4	33.9	55.4	3.6	1.8	5.4
60歳代	94	46	43	2	0	3	24	61	6	0	3	20	61	8	0	5	34	50	7	0	3
%	24	48.9	45.7	2.1	0	3.2	25.5	64.9	6.4	0	3.2	21.3	64.9	8.5	0	5.3	36.2	53.2	7.4	0	3.2
70歳代	98	36	53	1	0	8	14	57	15	0	12	21	53	10	2	12	30	51	4	1	12
%	25.1	36.7	54.1	1	0	8.2	14.3	58.2	15.3	0	12.2	21.4	54.1	10.2	2	12.2	30.6	52	4.1	1	12.3
無回答	6	3	1	0	0	2	0	3	1	0	2	1	3	0	0	2	0	3	1	0	2

問8～問9

	全体	問8 議員・審議会委員の場に女性が 증가していることについての期待							問9 政策決定の場に女性が 増加することへの期待							
		1現在より大幅に増えた方がよい	2少し増えた方がよい	3現状でよい	4現状より少なくてよい	5わからない	6その他	13無回答	1政治が身近になる	2男性中心の考えに変化が生じる	3男女平等、男女共同参画への施策が推進される	4行政への要望が細くなる	5何も期待しない	6わからない	7その他	13無回答
合計	391	135	154	41	7	36	14	4	13	127	118	72	28	22	7	4
%	100	34.5	39.4	10.5	1.8	9.2	3.6	1	3.3	32.5	30.2	18.4	7.2	5.6	1.8	1
男性	177	62	68	23	4	9	10	1	2	60	57	31	15	6	5	1
%	45.3	35	38.4	13	2.3	5.1	5.6	0.6	1.1	33.9	32.2	17.5	8.5	3.4	2.8	0.6
女性	208	72	83	17	3	27	4	2	11	66	60	39	13	15	2	2
%	53.2	34.6	39.9	8.2	1.4	13	1.9	1	5.3	31.7	28.8	18.8	6.3	7.2	1	1
無回答	6	1	3	1	0	0	0	1	0	1	1	2	0	1	0	1
20歳代	26	3	13	3	1	4	2	0	0	8	4	2	8	4	0	0
%	6.6	11.5	50	11.5	3.8	15.4	7.7	0	0	30.8	15.3	7.7	30.8	15.4	0	0
30歳代	43	17	13	4	1	5	3	0	2	12	12	8	5	1	3	0
%	11	39.5	30.2	9.3	2.3	11.6	7	0	4.7	28	27.9	18.6	11.6	2.3	7	0
40歳代	68	24	22	8	1	7	6	0	3	29	14	9	8	3	2	0
%	17.4	35.3	32.4	11.8	1.5	10.3	8.8	0	4.4	42.6	20.6	13.2	11.8	4.4	2.9	0
50歳代	56	24	18	5	0	9	0	0	0	22	14	11	3	4	2	0
%	14.3	42.9	32.1	8.9	0	16.1	0	0	0	39.3	25	19.6	5.4	7.1	3.6	0
60歳代	94	43	38	6	3	3	1	0	4	29	38	19	2	2	0	0
%	24	45.7	40.4	6.4	3.2	3.2	1.1	0	4.3	30.9	40.4	20.2	2.1	2.1	0	0
70歳代	98	23	47	14	1	8	2	3	4	26	35	21	2	7	0	3
%	25.1	23.5	48	14.3	1	8.2	2	3.1	4.1	26.5	35.7	21.4	2	7.1	0	3.1
無回答	6	1	3	1	0	0	0	1	0	1	1	2	0	1	0	1

問10

	全体	問10 育児休業制度を知っているか。利用したことがあるか(複数回答)											
		1知っている利用した	2知っていて利用したことがない						3知っていない利用したことがない	4知らない	5無回答		
		1必要がない	2収入の保証がない	3昇進、昇給に差支える	4制度を利用しにくい	5興味・関心がない	6その他	13無回答					
合計	391	34	164	32	9	64	3	53	1	289	26	32	10
%	100	8.7	41.9	8.2	2.3	16.4	0.8	13.6	0.3	73.9	6.6	8.2	2.6
男性	177	6	85	12	7	28	1	17	0	134	14	19	4
%	45.3	3.4	48	6.8	4	15.8	0.6	9.6	0	75.7	7.9	10.7	2.3
女性	208	27	77	19	2	35	2	35	0	151	12	13	5
%	53.2	13	37	9.1	1	16.8	1	16.8	0	72.6	5.8	6.3	2.4
無回答	6	1	2	1	0	1	0	1	1	4	0	0	1
20歳代	26	1	14	0	0	3	1	7	0	21	3	1	0
%	6.6	3.8	53.8	0	0	11.5	3.8	26.9	0	80.8	11.5	3.8	0
30歳代	43	10	15	4	1	10	0	3	0	30	3	0	0
%	11	23.3	34.9	9.3	2.3	23.3	0	7	0	69.8	7	0	0
40歳代	68	8	27	9	2	11	0	7	0	47	5	7	1
%	17.4	11.8	39.7	13.2	2.9	16.2	0	10.3	0	69.1	7.4	10.3	1.5
50歳代	56	5	28	8	1	7	0	8	0	45	2	4	0
%	14.3	8.9	50	14.3	1.8	12.5	0	14.3	0	80.4	3.6	7.1	0
60歳代	94	4	44	5	4	19	0	11	0	76	5	6	3
%	24	4.3	46.8	5.3	4.3	20.2	0	11.7	0	80.9	5.3	6.4	3.2
70歳代	98	5	34	5	1	13	2	16	0	66	8	14	5
%	25.1	5.1	34.7	5.1	1	13.3	2	16.3	0	67.3	8.2	14.3	5.1
無回答	6	1	2	1	0	1	0	1	1	4	0	0	1

問11

	全体	問11 介護休業制度を知っているか。利用したことがあるか(複数回答)											
		1知って いて利用 した	2知って利用したことがない							3知って いて利用 したこと がない 計	3知らな かった	4その他	5無回答
			1必要 がない	2収入の 保証な い	3昇進、 昇給に差 し支える	4制度を 利用しに くい	5興味・ 関心がな い	6その他	13無回 答				
合計	391	9	172	32	4	47	3	25	0	247	99	30	6
%	100	2.3	44	8.2	1	12	0.8	6.4	0	63.2	25.3	7.7	1.5
男性	177	5	90	11	4	19	2	5	0	113	41	14	4
%	45.3	2.9	50.8	6.2	2.3	10.7	1.1	2.8	0	63.8	23.2	7.9	2.3
女性	208	4	79	21	0	28	1	20	0	131	56	16	1
%	53.2	1.9	38	10.1	0	13.5	0.5	9.6	0	63	26.9	7.7	0.5
無回答	6	0	3	0	0	0	0	0	0	3	2	0	1
20歳代	26	0	13	0	0	1	1	2	0	16	9	1	0
%	6.6	0	50	0	0	3.8	3.8	7.7	0	61.5	34.6	3.8	0
30歳代	43	0	23	3	0	6	1	1	0	29	14	0	0
%	11	0	53.5	7	0	14	2.3	2.3	0	67.4	32.6	0	0
40歳代	68	0	31	9	1	10	0	1	0	41	21	6	0
%	17.4	0	45.6	13.2	1.5	14.7	0	1.5	0	60.3	30.9	8.8	0
50歳代	56	0	25	4	0	5	0	5	0	35	17	4	0
%	14.3	0	44.6	7.1	0	8.9	0	8.9	0	62.5	30.4	7.1	0
60歳代	94	6	43	11	2	14	0	5	0	66	15	6	1
%	24	6.4	45.7	11.7	2.1	14.9	0	5.3	0	70.2	16	6.4	1.1
70歳代	98	3	34	5	1	11	1	11	0	57	21	13	4
%	25.1	3.1	34.7	5.1	1	11.2	1	11.2	0	58.2	21.4	13.3	4.1
無回答	6	0	3	0	0	0	0	0	0	3	2	0	1

	全体	問12 安心して子供を産み育てるために必要なこと議員・審議会委員の場において女性が揃っていることについて											問13 男女ともに家事・育児・介護に参画していくために必要なこと(複数回答)										
		1経済的な支援の拡充	2子育て中の柔軟な勤務形態	3保育サービスの充実	4出産、子育て後に再就職しやすい制度	5父親が子育てにかかわりやすい職場環境整備	6ファミリーサポート事業など子育て支援の充実	7子育て中の情報交換の場の提供	8医療施設の充実	9わからない	10その他	13無回答	1夫婦家族間でコミュニケーションを図る	2固定的役割分担を押し付けない	3仕事以外の時間を多く持つ	4男性の抵抗感をなくす	5男性の関心を高める啓発、情報交換	6男性が相談しやすい窓口	7国、地方自治体による研修	8女性の抵抗感をなくす	9必要と思うことはない	10その他	13無回答
合計	391	234	206	150	167	114	87	48	55	9	7	5	267	210	173	129	120	66	64	68	5	11	7
%	100	59.8	52.7	38.4	42.7	29.2	22.3	12.3	14.1	2.3	1.8	1.3	68.3	53.7	44.2	33	30.7	16.9	16.4	17.4	1.3	2.8	1.8
男性	177	121	89	72	69	52	27	25	26	4	2	3	120	91	78	53	47	35	23	38	3	7	2
%	45.3	68.4	50.3	40.7	39	29.4	15.3	14.1	14.7	2.3	1.1	1.7	67.8	51.4	44.1	29.9	26.6	19.8	13	21.5	1.7	4	1.1
女性	208	110	114	77	96	60	59	23	28	4	5	1	146	115	91	74	70	30	39	29	0	4	4
%	53.2	52.9	54.8	37	46.2	28.8	28.4	11.1	13.5	1.9	2.4	0.5	70.2	55.3	43.8	35.6	33.7	14.4	18.8	13.9	0	1.9	1.9
無回答	6	3	3	1	2	2	1	0	1	1	0	1	1	4	4	2	3	1	2	1	2	0	1
20歳代	26	14	18	7	14	9	4	3	2	0	0	1	15	15	14	8	6	3	4	3	1	0	0
%	6.6	53.8	69.2	26.9	53.8	34.6	15.4	11.5	7.7	0	0	3.8	57.7	57.7	53.8	30.8	23.1	11.5	15.4	11.5	3.8	0	0
30歳代	43	30	24	19	19	18	9	3	4	0	0	0	33	21	21	13	16	5	7	5	0	3	0
%	11	69.8	55.8	44.2	44.2	41.9	20.9	7	9.3	0	0	0	76.7	48.8	48.8	30.2	37.2	11.6	16.3	11.6	0	7	0
40歳代	68	44	33	18	21	23	13	6	12	4	2	1	39	34	30	18	14	5	7	8	1	6	1
%	17.4	64.7	48.5	26.5	30.9	33.8	19.1	8.8	17.6	5.9	2.9	1.5	57.4	50	44.1	26.5	20.6	7.4	10.3	11.8	1.5	8.8	1.5
50歳代	56	35	29	26	25	18	9	5	8	0	4	0	41	39	24	18	13	11	8	10	0	1	1
%	14.3	62.5	51.8	46.4	44.6	32.1	16.1	8.9	14.3	0	7.1	0	73.2	69.6	42.9	32.1	23.2	19.6	14.3	17.9	0	1.8	1.8
60歳代	94	54	46	45	44	19	28	14	12	2	0	1	71	48	45	34	30	16	16	15	0	1	1
%	24	57.4	48.9	47.9	46.8	20.2	29.8	14.9	12.8	2.1	0	1.1	75.5	51.1	47.9	36.2	31.9	17	17	16	0	1.1	1.1
70歳代	98	54	53	34	42	25	23	17	16	2	1	1	67	49	35	36	38	25	20	26	1	0	3
%	25.1	55.1	54.1	34.7	42.9	25.5	23.5	17.3	16.3	2	1	1	68.4	50	35.7	36.7	38.8	25.5	20.4	26.5	1	0	3.1
無回答	6	3	3	1	2	2	1	0	1	1	0	1	1	4	4	2	3	1	2	1	2	0	1

	全体	問14 災害時における男女共同参画、女性の参画についての考え方(1)男女平等と互いの性について理解する学校教育の充実											問15 男女平等の考え方を浸透させるための情報				問16 職場における管理職の研修						
		1男女の人権に配慮した安全安心を確保するために重要	2どちらかといえば重要	3どちらかといえば重要ではない	4重要だと思わない	5わからない	6その他	13無回答	1大変重要	2重要	3あまり重要でない	4重要でない	13無回答	1大変重要	2重要	3あまり重要でない	4重要でない	13無回答	1大変重要	2重要	3あまり重要でない	4重要でない	13無回答
合計	391	250	87	13	6	26	2	7	99	239	31	1	21	90	254	26	1	20	84	231	45	6	25
%	100	63.9	22.3	3.3	1.5	6.6	0.5	1.8	25.3	61.1	7.9	0.3	5.4	23	65	6.6	0.3	5.1	21.5	59.1	11.5	1.5	6.4
男性	177	120	32	8	4	8	1	4	44	111	19	1	2	38	116	18	1	4	35	108	25	3	6
%	45.3	67.8	18.1	4.5	2.3	4.5	0.6	2.3	24.9	62.7	10.7	0.6	1.1	21.5	65.5	10.2	0.6	2.3	19.8	61	14.1	1.7	3.4
女性	208	127	53	5	2	18	1	2	55	124	12	0	17	52	134	8	0	14	49	121	18	3	17
%	53.2	61.1	25.5	2.4	1	8.7	0.5	1	26.4	59.6	5.8	0	8.2	25	64.4	3.8	0	6.7	23.6	58.2	8.7	1.4	8.2
無回答	6	3	2	0	0	0	0	1	0	4	0	0	2	0	4	0	0	2	0	2	2	0	2
20歳代	26	11	6	2	1	6	0	0	7	13	4	1	1	9	13	2	1	1	8	13	4	0	1
%	6.6	42.3	23.1	7.7	3.8	23.1	0	0	26.9	50	15.4	3.8	3.8	34.6	50	7.7	3.8	3.8	30.8	50	15.4	0	3.8
30歳代	43	20	17	2	2	2	0	0	11	28	4	0	0	10	31	2	0	0	9	29	4	1	0
%	11	46.6	39.5	4.7	4.7	4.7	0	0	25.6	65.1	9.3	0	0	23.3	72.1	4.7	0	0	20.9	67.4	9.3	2.3	0
40歳代	68	43	15	0	1	7	1	1	21	35	10	0	2	17	41	8	0	2	24	35	5	2	2
%	17.4	63.24	22.1	0	1.5	10.3	1.5	1.4	30.8	51.5	14.7	0	2.9	25	60.2	11.8	0	2.9	35.2	51.5	7.4	2.9	2.9
50歳代	56	36	10	1	2	7	0	0	8	41	4	0	3	13	35	5	0	3	8	34	11	0	3
%	14.3	64.2	17.9	1.8	3.6	12.5	0	0	14.3	73.3	7.1	0	5.4	23.2	62.5	8.9	0	5.4	14.3	60.8	19.6	0	5.4
60歳代	94	66	20	4	0	2	0	2	26	56	5	0	7	22	62	3	0	7	20	60	4	2	8
%	24	70.2	21.3	4.3	0	2.1	0	2.1	27.7	59.6	5.3	0	7.4	23.4	66	3.2	0	7.4	21.3	63.8	4.2	2.1	8.5
70歳代	98	71	17	4	0	2	1	3	26	62	4	0	6	19	68	6	0	5	15	58	15	1	9
%	25.1	72.4	17.3	4.1	0	2	1	3.1	26.5	63.3	4.1	0	6.1	19.4	69.4	6.1	0	5.1	15.3	59.2	15.3	1	9.2
無回答	6	3	2	0	0	0	0	1	0	4	0	0	2	0	4	0	0	2	0	2	2	0	2

	全体	4) 地域における子育て支援					5) 労働時間の短縮等条件整備					6) 再雇用制度の確立、女性の再就職のための					7) 女性の参画を計画的に促進するための目標				
		1大変重要	2重要	3あまり重要でない	4重要でない	13無回答	1大変重要	2重要	3あまり重要でない	4重要でない	13無回答	1大変重要	2重要	3あまり重要でない	4重要でない	13無回答	1大変重要	2重要	3あまり重要でない	4重要でない	13無回答
合計	391	132	219	15	2	23	135	199	26	7	24	123	214	26	5	23	45	168	130	22	26
%	100	33.8	56	3.8	0.5	5.9	34.5	50.9	6.6	1.8	6.1	31.4	54.7	6.6	1.3	5.9	11.5	43	33.2	5.6	6.6
男性	177	58	103	8	2	6	58	88	19	6	6	51	101	14	5	6	18	83	55	15	6
%	45.3	32.7	58.2	4.5	1.1	3.4	32.8	49.7	10.7	3.4	3.4	28.8	57.1	7.9	2.8	3.4	10.2	46.9	31.1	8.5	3.4
女性	208	74	112	7	0	15	76	108	7	1	16	72	109	12	0	15	27	84	73	6	18
%	53.2	35.6	53.9	3.4	0	7.2	36.5	51.9	3.4	0.5	7.7	34.6	52.4	5.7	0	7.2	13	40.4	35.1	2.9	8.7
無回答	6	0	4	0	0	2	1	3	0	0	2	0	4	0	0	2	0	1	2	1	2
20歳代	26	16	7	3	0	0	14	10	2	0	0	8	14	3	1	0	1	9	11	4	1
%	6.6	61.5	26.9	11.5	0	0	53.8	38.5	7.7	0	0	30.7	53.8	11.5	3.8	0	3.8	34.6	42.3	15.4	3.8
30歳代	43	23	18	1	1	0	27	15	0	1	0	20	20	2	1	0	6	20	14	3	0
%	11	53.5	41.9	2.3	2.4	0	62.8	34.9	0	2.3	0	46.5	46.6	4.7	2.3	0	14	46.5	32.6	7	0
40歳代	68	24	36	5	1	2	24	30	5	3	6	15	39	7	3	4	2	22	34	6	4
%	17.4	35.3	52.9	7.4	1.5	2.9	35.2	44.1	7.4	4.4	8.8	22	57.4	10.3	4.4	5.9	2.9	32.3	50	8.8	5.9
50歳代	56	14	38	1	0	3	18	30	5	0	3	20	29	4	0	3	7	22	21	3	3
%	14.3	25	67.9	1.8	0	5.4	32.1	53.6	8.9	0	5.4	35.7	51.8	7.1	0	5.4	12.5	39.2	37.5	5.4	5.4
60歳代	94	29	58	0	0	7	33	52	3	1	5	33	54	2	0	5	20	44	20	3	7
%	24	30.9	61.7	0	0	7.4	35.1	55.3	3.2	1.1	5.3	35.1	57.4	2.1	0	5.3	21.3	46.8	21.3	3.2	7.4
70歳代	98	26	58	5	0	9	18	59	11	2	8	27	54	8	0	9	9	50	28	2	9
%	25.1	26.5	59.2	5.1	0	9.2	18.4	60.2	11.2	2	8.2	27.6	55.1	8.2	0	9.2	9.2	51	28.6	2	9.2
無回答	6	0	4	0	0	2	1	3	0	0	2	0	4	0	0	2	0	1	2	1	2

問16 法律や条例・計画・取り組みの認知

	全体	①男女雇用機会均等法				②育児・介護休業法				③パートタイム労働法				④男女共同参画社会基本法				⑤次世代育成支援対策推進法			
		1)知っている	2)内容は分からない	3)知らない	13)無回答	1)知っている	2)内容は分からない	3)知らない	13)無回答	1)知っている	2)内容は分からない	3)知らない	13)無回答	1)知っている	2)内容は分からない	3)知らない	13)無回答	1)知っている	2)内容は分からない	3)知らない	13)無回答
合計	391	250	100	30	11	230	123	27	11	135	163	81	12	98	166	116	11	34	108	235	14
%	100	63.9	25.6	7.7	2.8	58.8	31.5	6.9	2.8	34.5	41.7	20.7	3.1	25.1	42.5	29.7	2.8	8.7	27.6	60.1	3.6
男性	177	125	37	11	4	107	53	14	3	64	70	39	4	62	65	47	3	25	55	93	4
%	45.3	70.6	20.9	6.2	2.3	60.5	29.9	7.9	1.7	36.2	39.5	22	2.3	35	36.7	26.6	1.7	14.1	31.1	52.5	2.3
女性	208	122	62	19	5	120	69	13	6	70	92	40	6	36	99	67	6	9	51	140	8
%	53.2	58.7	29.8	9.1	2.4	57.7	33.2	6.3	2.9	33.7	44.2	19.2	2.9	17.3	47.6	32.2	2.9	4.3	24.5	67.3	3.8
無回答	6	3	1	0	2	3	1	0	2	1	1	2	2	0	2	2	2	0	2	2	2
20歳代	26	18	3	5	0	16	4	6	0	8	10	8	0	6	8	12	0	5	3	18	0
%	6.6	69.2	11.5	19.2	0	61.5	15.4	23.1	0	30.8	38.5	30.8	0	23.1	30.8	46.2	0	19.2	11.5	69.2	0
30歳代	43	29	11	3	0	30	11	2	0	11	25	7	0	11	16	16	0	5	8	30	0
%	11	67.4	25.6	7	0	69.8	25.6	4.7	0	25.6	58.1	16.3	0	25.6	37.2	37.2	0	11.6	18.6	69.8	0
40歳代	68	40	22	5	1	34	26	7	1	16	31	20	1	11	30	26	1	3	12	52	1
%	17.4	58.8	32.3	7.4	1.5	50	38.2	10.3	1.5	23.5	45.5	29.4	1.5	16.2	44.1	38.2	1.5	4.4	17.6	76.5	1.5
50歳代	56	38	14	4	0	35	19	2	0	20	20	16	0	9	28	19	0	2	17	37	0
%	14.3	67.8	25	7.1	0	62.5	33.9	3.6	0	35.7	35.7	28.6	0	16.1	50	33.9	0	3.5	30.4	66.1	0
60歳代	94	66	20	3	5	58	27	3	6	39	38	11	6	29	42	17	6	11	27	47	9
%	24	70.2	21.3	3.2	5.3	61.7	28.7	3.2	6.4	41.5	40.4	11.7	6.4	30.9	44.7	18.1	6.4	11.7	28.7	50	9.6
70歳代	98	56	29	10	3	54	35	7	2	40	38	17	3	32	40	24	2	8	39	49	2
%	25.1	57.1	29.6	10.2	3.1	55.1	35.7	7.1	2	40.8	38.8	17.3	3.1	32.7	40.8	24.5	2	8.2	39.8	50	2
無回答	6	3	1	0	2	3	1	0	2	1	1	2	2	0	2	2	2	0	2	2	2

	全体	⑥ぐるみん・プラチナぐるみん認定				⑦社員の子育て応援宣言				⑧千曲市男女共同参画推進条例				⑨第3次千曲市男女共同参画計画				⑩女性活躍推進法			
		1)知っている	2)内容は分からない	3)知らない	13)無回答	1)知っている	2)内容は分からない	3)知らない	13)無回答	1)知っている	2)内容は分からない	3)知らない	13)無回答	1)知っている	2)内容は分からない	3)知らない	13)無回答	1)知っている	2)内容は分からない	3)知らない	13)無回答
合計	391	13	35	332	11	18	65	288	20	32	111	237	11	32	85	263	11	23	89	268	11
%	100	3.3	9.0	84.9	2.8	4.6	16.6	73.7	5.1	8.2	28.4	60.6	2.8	8.2	21.7	67.3	2.8	5.9	22.8	68.5	2.8
男性	177	12	23	139	3	8	37	124	8	19	53	101	4	21	41	111	4	16	48	109	4
%	45.3	6.8	13.0	78.5	1.7	4.5	20.9	70.1	4.5	10.7	29.9	57.1	2.3	11.9	23.2	62.7	2.3	9	27.1	61.6	2.3
女性	208	1	12	189	6	10	28	160	10	13	57	133	5	11	43	149	5	7	41	155	5
%	53.2	0.5	5.8	90.9	2.9	4.8	13.5	76.9	4.8	6.3	27.4	63.9	2.4	5.3	20.7	71.6	2.4	3.4	19.7	74.5	2.4
無回答	6	0	0	4	2	0	0	4	2	0	1	3	2	0	1	3	2	0	0	4	2
20歳代	26	1	3	22	0	1	4	21	0	1	3	22	0	1	4	21	0	1	2	23	0
%	6.6	3.8	11.5	84.6	0	3.8	15.4	80.8	0	3.8	11.5	84.6	0	3.8	15.4	80.8	0	3.8	7.7	88.5	0
30歳代	43	2	0	41	0	1	2	39	1	0	9	34	0	0	5	38	0	2	8	33	0
%	11	4.7	0	95.3	0	2.3	4.7	90.7	2.3	0	20.9	79.1	0	0	11.6	88.4	0	4.7	18.6	76.7	0
40歳代	68	5	1	61	1	2	0	64	2	3	15	49	1	4	6	57	1	2	11	54	1
%	17.4	7.4	1.4	89.7	1.5	2.9	0	94.1	2.9	4.4	22	72.1	1.5	5.9	8.8	83.8	1.5	2.9	16.1	79.4	1.5
50歳代	56	0	5	51	0	4	10	41	1	5	12	39	0	5	8	43	0	4	12	40	0
%	14.3	0	8.9	91.1	0	7.1	17.9	73.2	1.8	8.9	21.4	69.6	0	8.9	14.3	76.8	0	7.1	21.4	71.4	0
60歳代	94	4	11	73	6	5	15	65	9	9	25	55	5	9	20	60	5	4	26	59	5
%	24	4.3	11.7	77.7	6.4	5.3	16	69.1	9.6	9.6	26.6	58.5	5.3	9.6	21.3	63.8	5.3	4.3	27.7	62.8	5.3
70歳代	98	1	15	80	2	5	34	54	5	14	46	35	3	13	41	41	3	10	30	55	3
%	25.1	1	15.3	81.6	2	5.1	34.7	55.1	5.1	14.3	46.9	35.7	3.1	13.3	41.8	41.8	3.1	10.2	30.6	56.1	3.1
無回答	6	0	0	4	2	0	0	4	2	0	1	3	2	0	1	3	2	0	0	4	2

	全体	⑪職場いきいきアドバンスカンパニー				⑫イクボス・温かボス宣言				⑬えるほし認定			
		1)知っている	2)内容は分からない	3)知らない	13)無回答	1)知っている	2)内容は分からない	3)知らない	13)無回答	1)知っている	2)内容は分からない	3)知らない	13)無回答
合計	391	2	30	347	12	19	35	325	12	2	21	355	13
%	100	0.5	7.7	88.7	3.1	4.9	9.0	83.1	3.1	0.5	5.4	90.8	3.3
男性	177	2	19	152	4	11	18	143	5	2	15	154	6
%	45.3	1.1	10.7	85.9	2.3	6.2	10.2	80.8	2.8	1.1	8.5	87	3.4
女性	208	0	11	191	6	8	17	178	5	0	6	197	5
%	53.2	0	5.3	91.8	2.9	3.8	8.2	85.6	2.4	0	2.9	94.7	2.4
無回答	0	0	0	4	2	0	0	4	2	0	0	4	2
20歳代	26	1	0	25	0	1	2	23	0	1	0	25	0
%	6.6	3.8	0	96.2	0	3.8	7.7	88.5	0	3.8	0	96.2	0
30歳代	43	0	2	41	0	1	2	40	0	0	0	43	0
%	11	0	4.7	95.3	0	2.3	4.7	93	0	0	0	100	0
40歳代	68	1	0	66	1	5	5	57	1	1	0	65	2
%	17.4	1.5	0	97.1	1.5	7.4	7.4	83.8	1.5	1.5	0	95.6	2.9
50歳代	56	0	5	51	0	5	6	45	0	0	6	50	0
%	14.3	0	8.9	91.1	0	8.9	10.7	80.4	0	0	10.7	89.3	0
60歳代	94	0	12	76	6	7	7	75	5	0	7	82	5
%	24	0	12.8	80.9	6.4	7.4	7.4	79.8	5.3	0	7.4	87.2	5.3
70歳代	98	0	11	84	3	0	13	81	4	0	8	86	4
%	25.1	0	11.2	85.7	3.1	0	13.3	82.7	4.1	0	8.2	87.8	4.1
無回答	6	0	0	4	2	0	0	4	2	0	0	4	2

千曲市 男女共同参画社会に向けての 市民意識調査

■ 調査のあつかい

1. この調査は、今後の男女共同参画社会実現への施策を推進するうえでの基礎資料として活用するため、男女共同参画について、市民のみなさまの意識やお考えをお聞きするものです。
2. この調査票は、20歳以上の市民の中から、**無作為に1,000名の方々を選び**、送付させていただきます。
3. **無記名**でお答えいただきますので、どなたのお答えかはわからないようになっています。あなた自身にご迷惑をかけることはいっさいありません。
また、**上記目的以外に使用することはありません。**

■ 記入上の注意

1. **あて名のご本人**が、お答えになってください。
(ただし、読み書きが困難な場合、ご家族等の協力で本人がお答えください)。
2. ご回答は、ボールペンか鉛筆で、**設問の指示(○は1つ、○はいくつでも、問9へ進む、など)にしたがって**、選択回答もしくは記述回答してください。

※ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要)にお入れになり、**平成30年10月5日(金)までに投函**してください。

■ 調査についてのお問い合わせ先

この調査に関するご質問などがありましたら、下記までご連絡ください。

千曲市健康福祉部 人権・男女共同参画課
担当：高野・大森
(TEL) 026-273-1111 (内線 6331)
(FAX) 026-275-0591
〒389-0892 千曲市大字戸倉 2388 番地

(はじめに) あなたご自身のことについて、次の(1)～(4)のすべてについてお答えください。
(○はそれぞれ1つ)

(1) あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

(2) あなたの年齢階層をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|--------|---------|
| 1 20歳代 | 4 50歳代 |
| 2 30歳代 | 5 60歳代 |
| 3 40歳代 | 6 70歳以上 |

(3) あなたの家族構成をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------|---------|
| 1 単身世帯 | 4 三世代世帯 |
| 2 夫婦のみ | 5 その他 |
| 3 二世帯世帯 | |

(4) あなたの職業についてお答えください。(○は1つ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 自営業 (商工・サービス業・自由業) |
| 2 自営業 (農・林・漁業) |
| 3 常勤 |
| 4 フルタイムパート (労働時間・労働日数が正社員とほぼ同じ方) |
| 5 パート・アルバイト、内職 (労働時間・労働日数が正社員よりも少ない方) |
| 6 専業主婦、専業主夫 |
| 7 無職 (学生を含む) |

問1 現在、世の中は男女平等であると思いますか。

次にあげる①～⑥すべてについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

	1 男性が 非常に 優遇	2 どちら かとい えば男 性優遇	3 平等で ある	4 どちら かとい えば女 性優遇	5 女性が 非常に 優遇	6 わから ない
記入例… 1～6の1つに○	1	②	3	4	5	6
①家庭	1	2	3	4	5	6
②職場	1	2	3	4	5	6
③学校教育	1	2	3	4	5	6
④地域	1	2	3	4	5	6
⑤政治や制度	1	2	3	4	5	6
⑥社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6

問2 次の事例についてあなたはどのように思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	1 そう思う	2 どちらか といえ ばそう 思う	3 どちらか といえ ばそう 思わ ない	4 そう思 わない
記入例… 1～4の1つに○	1	②	3	4
①地域や家庭での行事や酒席では、女性は裏方(台所)を引き受けるのが当たり前	1	2	3	4
②自治会や公民館・PTAなど団体の代表者は男性がなったほうが良い	1	2	3	4
③女性自身が、責任ある役職につくことを避けようとしている	1	2	3	4
④しきたりや、慣習は、自分が嫌だ、時代に合わないと思っても守るべきだ	1	2	3	4
⑤女性は文科系、男性は理数系の学問や職業に向いている	1	2	3	4
⑥子どもは、女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうが良い	1	2	3	4
⑦子どものしつけや教育は、母親の責任である	1	2	3	4
⑧女性は、家庭のことをきちんとしてから仕事に出るべきだ	1	2	3	4

問3 あなたは、DV（ドメスティック・バイオレンス）という言葉をご存知ですか。（○は1つ）

- 1 どういう意味か内容をよく知っている
- 2 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
- 3 聞いたこともないし、内容も全く知らない

問4 あなたは、配偶者等（事実婚、別居中の夫婦、元配偶者、恋人、元恋人）から、DV（身体的暴力・精神的暴言・経済的強制・性的強要、デートDV）など1つでも受けたことはありますか。（○は1つ）

- 1 1～2度ある
- 2 何度もある
- 3 全くない

問5 性犯罪、夫婦間暴力、セクシャルハラスメントなど女性に対する暴力の対応として、どのようなことが効果的だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 被害者が安心して相談できる窓口の設置
- 2 続けて暴力をうけることのないように、被害者が一時的に非難できる場所の整備
- 3 被害者の相談にあたる担当者の充実や女性担当者の増員
- 4 被害者の支援をする市民団体と関係機関などの連携強化
- 5 学校や家庭における男女平等や性についての教育の充実
- 6 女性の人権尊重等についての県や市町村での啓発活動の充実
- 7 暴力の再発を防ぐための加害者に対するカウンセリングや教育等の実施
- 8 性の商品化や暴力表現等過激な内容についてのメディアにおける倫理規定の強化
- 9 過激な内容のDVD販売や、動画配信等の制限
- 10 その他（具体的に _____)
- 11 特に対策の必要はない

問6 「男は仕事、女は家庭」という性別によって役割を固定する考え方について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

1 賛成である	3 あまり好ましくない
2 仕方がないと思う → 問6-1へ進む	4 反対である → 問6-2へ進む



問6-1 問6で1または2と答えた方にお聞きします。そう思う理由はなんですか。

(○は2つまで)

<ol style="list-style-type: none">1. 男性は外の仕事、女は家事・育児・介護に向いているから2. 家族を養うのは男の責任で、子育てや夫・両親の世話は女の責任だから3. 妻が働きに出ると家庭に潤いがなくなる4. 自分の両親がそのようにしてきたから5. その他(具体的に)6. 特に理由はない

問6-2 問6で3または4と答えた方にお聞きします。そう思う理由はなんですか。

(○は2つまで)

<ol style="list-style-type: none">1. 男女とも仕事を持つほうが良いから2. 家事・育児・介護は男女が協力してやるべきだから3. 仕事と家庭は男女のどちらが分担しても良いから4. 妻が家庭にいると視野が狭くなるから5. その他(具体的に)6. 特に理由はない
--

問7 女性のチャレンジを支援する取り組みとして、次のような施策はどの程度重要だと思いますか。(〇はそれぞれ1つ)

	1 大変重要 である	2 重要であ る	3 あまり重 要でない	4 重要で ない
記入例… 1～4の1つに〇	1	②	3	4
①家庭や地域での広報や啓発	1	2	3	4
②学校教育での学習の充実	1	2	3	4
③各種審議会へ女性を積極的に登用	1	2	3	4
④経営者や事業主に対する啓発強化	1	2	3	4
⑤仕事と育児・介護両立のための支援策の充実	1	2	3	4
⑥女性のための相談窓口周知	1	2	3	4
⑦発達段階に応じた性教育の充実、女性の健康支援	1	2	3	4
⑧チャレンジする女性に対する支援強化	1	2	3	4

問8 最近、県・市町村議会の議員や※審議会委員等の政策決定の場に女性が少しずつ増えていますが、あなたはこのことについて、どのように思われますか。(〇は1つ)

(※審議会委員等・・・国、県、市より委嘱された審議委員、協議会委員等で行政に広く意見を述べたり共に活動をする人)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在より大幅に増えたほうがよい 2. 現在より少し増えたほうがよい 3. 現状でよい 4. 現状より少なくてよい 5. わからない 6. その他 () |
|--|

参考	(29.4.1 現在)
女性議員の割合	
長野県	10.3%
千曲市	18.2%
審議会委員等の女性委員の割合	
長野県	44.0%
千曲市	27.2%

問9 あなたは、政策決定の場に女性が増えることで何を期待しますか。(〇は1つ)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 政治が身近になる 2. 男性中心の考え方に変化が生じる 3. 男女平等や男女共同参画社会に向けた施策が推進される 4. 行政に対しての要望がきめ細くなる 5. 何も期待しない 6. わからない 7. その他 () |
|--|

問 10 あなたは、育児休業制度をご存知ですか。または利用したことがありますか。(○は1つ)

1. 知っており利用したことがある
2. 知っているが利用したことがない →問 10-1 へ進む。
3. 知らなかった
4. その他

問 10-1 問 10 で 2 と答えた方にお聞きします。その理由はなんですか。

(○は2つまで)

1. 制度を利用する必要がない
2. 収入の保証がない
3. 昇進・昇給などに差し支える
4. 制度を利用しにくい雰囲気
5. 興味・関心がない
6. その他 ()

問 11 あなたは、介護休業制度をご存知ですか。または利用したことがありますか。(○は1つ)

1. 知っており利用したことがある
2. 知っているが利用したことがない →問 11-1 へ進む。
3. 知らなかった
4. その他

問 11-1 問 11 で 2 と答えた方にお聞きします。その理由はなんですか。

(○は2つまで)

1. 制度を利用する必要がない
2. 収入の保証がない
3. 昇進・昇給などに差し支える
4. 制度を利用しにくい雰囲気
5. 興味・関心がない
6. その他 ()

問 1 2 安心して子どもを産み育てるためにはどんなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 出産・育児に関する経済的な支援の拡充
- 2 子育て中の柔軟な勤務形態の普及
- 3 保育サービスの充実
- 4 出産・子育て後に再就職しやすい制度
- 5 父親が子育てに十分関わることができる職場環境の整備
- 6 ファミリーサポート事業や放課後児童クラブなど地域の子育て支援の充実
- 7 子育て中の親が相談・交流・情報交換できる場の提供
- 8 産婦人科等医療施設の充実
- 9 わからない
- 10 その他 ()

問 1 3 男性と女性がともに家事・育児・介護・地域活動などに積極的に参画していくためにどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 夫婦や家族間でコミュニケーションを図る
- 2 固定的役割分担を押し付けない
- 3 仕事以外の時間を多く持てるようにする
- 4 男性の抵抗感をなくす
- 5 男性の関心を高めるような啓発や情報提供を行う
- 6 男性が地域活動と仕事との両立などの問題について相談しやすい窓口を設ける
- 7 国や地方自治体などの研修により男性の家事等の技能を高める
- 8 女性の抵抗感をなくす
- 9 特に必要と思うことはない
- 10 その他 ()

問 1 4 日頃の防災や、災害の本部・避難所の運営、復旧・復興等に男女の共同参画、意思決定の場への女性の参画について、あなたはどのように考えますか。(○は1つ)

- 1 男女の人権に配慮した市民の安全、安心を確保するためには重要だと思う
- 2 どちらかといえば重要だと思う
- 3 どちらかといえば重要だと思わない
- 4 重要だと思わない
- 5 わからない
- 6 その他 ()

問15 男女共同参画を実現していくために、次のような施策は、どの程度重要だと思いますか。
 (○はそれぞれ1つ)

	1 大変重要 である	2 重要であ る	3 あまり重 要でない	4 重要で ない
記入例…1～4の1つに○	1	②	3	4
①男女平等とお互いの性について理解する学校教育の充実	1	2	3	4
②男女平等の考え方を社会全体に浸透させるための情報提供や学習の充実	1	2	3	4
③職場における管理職への研修等の充実	1	2	3	4
④地域における子育て支援体制の充実	1	2	3	4
⑤労働時間の短縮等、男女が家事を分担できる条件整備	1	2	3	4
⑥再雇用制度の確立や、女性の再就職のための研修等の充実	1	2	3	4
⑦「女性委員の割合は何%以上」といった、女性の参画を計画的に促進するための目標設定	1	2	3	4

問16 あなたは、次の法律や条例・計画や取り組みをご存知ですか。

次の①～⑬のすべてについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

	1 知っている	2 聞いたことは あるが内容は わからない	3 知らない
記入例…1～3の1つに○	①	2	3
① 男女雇用機会均等法（昭和61年）	1	2	3
② 育児・介護休業法（平成4年）	1	2	3
③ パートタイム労働法（平成5年）	1	2	3
④ 男女共同参画社会基本法（平成11年）	1	2	3
⑤ 次世代育成支援対策推進法（平成15年）	1	2	3
⑥ くるみん・プラチナくるみん認定 （平成15年）*1)	1	2	3
⑦ 社員の子育て応援宣言（平成19年）			
⑧ 千曲市男女共同参画推進条例 （平成24年）	1	2	3
⑨ 第3次千曲市男女共同参画計画 （平成27年）	1	2	3
⑩ 女性活躍推進法（平成27年）	1	2	3
⑪ 職場いきいきアドバンスカンパニー認証 （平成27年）*2)	1	2	3
⑫ イクボス・温（あった）かボス宣言 （平成28年）	1	2	3
⑬ えるぼし認定（平成28年）*3)	1	2	3

***1) くるみん・プラチナくるみん認定**

子育てサポート企業として、次世代育成支援対策推進法に基づき、国が企業に対して行う認定。社内外や求人の際のアピールによる優秀な人材の確保と定着、税制優遇、入札加点などのメリットがある。

***2) 職場いきいきアドバンスカンパニー認証**

従業員がいきいきと働ける、実践的な取組をしている企業に対して、長野県が行う認証。社内の活性化、社内外や求人の際のアピールによる優秀な人材の確保と定着。入札加点、金利の優遇、県のインターンシップ補助金の補助限度額の引き上げなどのメリットがある。

***3) えるぼし認定**

女性活躍を推進している企業として、女性活躍推進法に基づき、国が企業に対して行う認定。社内外や求人の際のアピール、税制優遇、入札加点などのメリットがある。

千曲市 男女共同参画社会に向けての 企業意識調査

■ 調査のあつかい

1. この調査は、今後の男女共同参画社会実現への施策を推進するうえでの基礎資料として活用するため、男女共同参画について、市内企業のみなさまの意識やお考えをお聞きするものです。
2. この調査票は、市内の従業員 10 人以上の企業のうち、**地区・業種・事業規模等を考慮した 100 社を選び**、送付させていただいています。
3. **無記名**でお答えいただきますので、どなたのお答えかはわからないようになっています。貴社にご迷惑をかけることはいっさいありません。
また、**上記目的以外に使用することはありません。**

■ 記入上の注意

1. **貴社管理部門ご担当者さま**が、お答えになってください。
2. ご回答は、ボールペンか鉛筆で、**設問の指示（○は1つ、○はいくつでも、問9へ進む、など）にしたがって**、選択回答もしくは記述回答してください。

※ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要）にお入れになり、**平成 30 年 10 月 5 日（金）までに投函**してください。

■ 調査についてのお問い合わせ先

この調査に関するご質問などがありましたら、下記までご連絡ください。

千曲市健康福祉部 人権・男女共同参画課
担当：高野・大森
(TEL) 026-273-1111 (内線 6331)
(FAX) 026-275-0591
〒389-0892 千曲市大字戸倉 2388 番地

○貴社の概要について伺います。

問1 業種は何ですか。(○は1つ)

1 建設業	5 金融・保険業
2 製造業	6 サービス業
3 運輸・通信業	7 その他(具体的に)
4 卸・小売業、飲食店	

問2 従業員は何名ですか。(下表に人数を記入してください)

従業員数		正社員	パートタイム 労働者	その他
	男 性	名	名	名
	女 性	名	名	名
	計	名	名	名

○女性労働者の就労実態について伺います。

問3 管理職や監督職は何名ですか。(下欄に人数を記入してください)

管理職(課長相当職以上)	_____名	うち女性	_____名
監督職(係長、班長等相当職)	_____名	うち女性	_____名

問4 今後女性を役職(管理職・監督職)へ登用することについてどのようにお考えですか。

(○は1つ)

1 本人の能力や意思によって男女の区別なく役職へ登用したい。
2 女性に適した職種や業務については役職へ登用したい。
3 今後とも女性を役職へ登用するつもりはない。
4 その他(具体的に)

問5 女性の活用についてどのようにお考えですか。(〇は1つ)

1 男女の区別なく幅広い活用を図っている。
2 女性は特定の職種や専門分野でのみ活用を図っている。
3 女性は補助的な業務でのみ活用を図っている。
4 女性の雇用管理上むずかしい面があるので、活用には限界がある。
5 その他(具体的に)

〇貴社の制度や規則について伺います。

問6 次の法律や条例・計画や取り組みをご存知ですか。

次の①～⑬のすべてについてお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

	1 知って いて実行し ている	2 知 っている	3 聞いたこと はあるが内容 はわからない	4 知 らない
記入例…1～4の1つに〇	①	2	3	4
① 男女雇用機会均等法(昭和61年)	1	2	3	4
② 育児・介護休業法(平成4年)	1	2	3	4
③ パートタイム労働法(平成5年)	1	2	3	4
④ 男女共同参画社会基本法 (平成11年)	1	2	3	4
⑤ 次世代育成支援対策推進法 (平成15年)	1	2	3	4
⑥ くるみん・プラチナくるみん認定 (平成15年)	1	2	3	4
⑦ 社員の子育て応援宣言 (平成19年)				
⑧ 千曲市男女共同参画推進条例 (平成24年)	1	2	3	4
⑨ 第3次千曲市男女共同参画計画 (平成27年)	1	2	3	4
⑩ 女性活躍推進法(平成27年)	1	2	3	4
⑪ 職場いきいきアドバンスカンパ ニー認証(平成27年)	1	2	3	4
⑫ イクボス・温(あった)かボス宣 言(平成28年)	1	2	3	4
⑬ えるぼし認定(平成28年)	1	2	3	4

問7

①産前産後休業制度利用中の社員への給料支援・経済的支援（社会保険料の免除または企業が負担する等）について（〇は1つ）

1 通常勤務時の給料を支給している
2 通常勤務時の給料を減額(6割・8割等)して支給している
3 無給である
4 その他(具体的に _____)

②育児休業制度について（〇は1つ）

1 就業規則等で整備されている
 ○整備されている場合、平成27年4月1日から平成30年3月31日まで、何名の方が利用しましたか。（下記表に延べ人数を記入してください）

育児休業	期 間	男 性	女 性	計
	3ヶ月以内	名	名	名
	3～6ヶ月	名	名	名
	6～9ヶ月	名	名	名
	9～12ヶ月	名	名	名
	12ヶ月以上	名	名	名
育児短時間勤務の制度		名	名	名

2 現在は整備されていないが、整備に向けて検討中である
 3 整備されていない（当面整備する予定はない）
 4 その他（具体的に _____ ）

③育児休業制度利用中の社員への給料支援・経済的支援（社会保険料の免除または企業が負担する等）について（〇は1つ）

1 通常勤務時の給料を支給している
2 通常勤務時の給料を減額(6割・8割等)して支給している
3 無給である
4 その他(具体的に _____)

問8 産前産後・育児休業から職場復帰の際、休業前と同じ職場、同じ待遇で勤務している従業員は平成27年4月1日から平成30年3月31日まで、何名いますか。

（下記欄に延べ人数を記入してください）

男性 _____ 名	女性 _____ 名
------------	------------

問 9 子育て支援策について（あてはまるものに○）

- 1 3歳未満もしくは、保育所に通園している子どもがいる親（妻）は夜勤免除の制度がある
- 2 子どもが小学生の間ぐらまでは、夕方早めに帰宅できるなど働き方が選べる
- 3 育児休業制度がある
- 4 託児または保育施設が完備されている
- 5 子育てについての支援策はない
- 6 その他(具体的に _____)

問 10 介護休業制度について（○は1つ）

- 1 就業規則等で整備されている
○整備されている場合、平成 27 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで、何名の方が利用しましたか。（下記表に延べ人数を記入してください）

介護休業	期 間	男 性	女 性	計
	3ヶ月以内	名	名	名
	3～6ヶ月	名	名	名
	6～9ヶ月	名	名	名
	9～12ヶ月	名	名	名
	12ヶ月以上	名	名	名
介護短時間勤務の制度		名	名	名

- 2 現在は整備されていないが、整備に向けて検討中である
- 3 整備されていない（当面整備する予定はない）
- 4 その他（具体的に _____)

問 11 介護休暇制度について（○は1つ）

- 1 就業規則等で整備されている
○整備されている場合、平成 27 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで、何人の方が利用しましたか。（下記欄に人数を記入してください）

（取得状況：男性 _____ 名 女性 _____ 名）

- 2 現在は整備されていないが、検討中である
- 3 整備の予定はない
- 4 その他(具体的に _____)

問 1 2 セクシャル・ハラスメント防止の対策について（あてはまるものに○）

- 1 事業者として防止に関する方針を明確にし、管理職や社員に周知している
- 2 就業規則等に関係規定を整備している
- 3 管理職や社員を対象にした研修や、啓発資料の作成・配布をしている
- 4 相談、苦情の対応のための窓口を整備し、発生した場合には迅速に対応できる体制をとっている
- 5 特に対策はとっていない

問 1 3 社員の能力の向上や、役職への登用などを目的として開催する研修会等について（あてはまるものに○）

- 1 男女とも同じ内容で区別することなく研修会等を開催している
- 2 女性と男性では違う内容で研修会等を開催している
主な内容を記入してください
男性社員対象： _____
女性社員対象： _____
- 3 女性のパワーアップや役職への登用を目的として、女性社員を対象にした研修会などを開催している
- 4 主に男性社員を対象として行い、女性社員には特に研修を行っていない
- 5 その他（具体的に _____)

問 1 4 「働き方改革（長時間労働の是正、ワーク・ライフ・バランスの実現）」に関する制度について（導入している制度に○）

- 1 短時間正社員制度
- 2 育児介護の短時間勤務制度の法定超の取組
- 3 フレックスタイム制度
- 4 時差出退勤制度
- 5 在宅勤務・直行直帰型のテレワークに関する制度
- 6 転勤など勤務地移動に関する制度
- 7 有期雇用者の正社員転換制度
- 8 その他（具体的に _____)

○貴社のパートタイム労働者について伺います。

問15 パートタイム労働者を雇用している理由は何ですか。(○は2つまで)

- 1 雇用量調整が容易なため
- 2 職種や業務によって、季節・時期・時間帯ごとの繁忙差が大きいいため
- 3 正社員を雇うよりも経費負担が少なくすむため
- 4 正社員の雇用が進まないため
- 5 特別な技術や資格、経験のある人材が必要なため
- 6 技能の要らない単純作業が多いため
- 7 正社員の週休・年休や休憩時間などを補うため
- 8 再雇用や勤務延長の結果として
- 9 その他(具体的に)

問16 パートタイム労働者の雇用状況はどのようになっていますか。(○は1つ)

- 1 欠員補充、代替要員等の一時的な雇用
- 2 一年を通じて繁忙期等の特定時期のみ雇用
- 3 年間を通じて継続的に雇用
- 4 その他(具体的に)

**問17 今後のパートタイム労働者の活用方針についてどのようにお考えですか。
(○はいくつでも)**

- 1 景気動向に柔軟に対応するため活用したい
- 2 時期的・時間帯で業務量が集中する職場で積極的に活用したい
- 3 人件費コスト抑制のため正社員に替えて活用したい
- 4 正社員の人手不足を補うため活用したい
- 5 特別な技術や資格、経験を要する仕事で活用したい
- 6 単純作業等で活用したい
- 7 正社員の労働時間短縮を進めるためにも活用したい
- 8 結婚・出産等による退職者の再雇用時の勤務形態として活用したい
- 9 本人の意欲や能力により成績顕著なパートタイム労働者を正社員や管理職として活用したい
- 10 その他(具体的に)